



市の鳥 おおばん

～手賀沼のほとり 心輝くまち～

あびこの消防年報

[市民の安全安心を守って]

令和 3 年版

は し が き

————— 手賀沼のほとり 心輝くまち —————

本書は、「水と緑に恵まれたやすらぎのまちあびこ」を守り、市民が暮らし易く住み良い、安全なまちづくりをめざす私達消防が、令和3年中（令和3年1月1日～令和3年12月31日）の消防概況をお知らせするものです。

本書が、広く利用され防災への一助となれば幸いです。

我孫子市消防本部

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号(代表) 04-7184-0119

FAX番号 04-7184-0120

我孫子市の沿革

我孫子と言う地名の起源については、どうしてこのように呼ばれるようになったのか、解らないことがたくさんあるが、「我孫子」は我比古・阿毘古・我孫・吾孫・綱引とも記され、奈良時代以前からの氏姓の名前であった。現在、「あびこ」と呼ぶ地名は、主として関西とその周辺に集中しており、関東地方にある私たちの我孫子市は極めて珍しい存在であると言える。この地がいつ頃から「あびこ」と呼ばれていたかは不明であるが、少なくとも、鎌倉時代の末には、そう呼ばれていた記録があり、古代の「我孫子氏」と関連が考えられる。

我孫子市の歴史は、市内の発掘調査の成果により、今までは約3万年以前の後期旧石器時代までさかのぼることが出来、その後の縄文時代は、約1万年もの長い期間、安定した狩猟採集経済が存続した、市内各地の台地上からは、この頃の人々が暮らした集落や、貝塚が発見されている。

弥生時代の我孫子市はほとんど空白の時代であったが、古墳時代になると、東葛地区最大の水神山古墳が高野山に造られるのをはじめ、多くの古墳が築かれるようになり、権力のある豪族が我孫子周辺を統治していたことがわかる。また、奈良・平安時代になり、全国に律令制がしかれるようになると、我孫子市周辺に「相馬郡」が設置され、郡の役所が日秀に置かれるようになる。また、下総国府（市川市）から常陸国府（石岡市）への通過経路として、当時から交通の要衝であった。

相馬郡は平将門の伝承が残っている。我孫子市にも将門に関する伝説や地名が残っており、一族の平良文、千葉常胤、平忠常らの領地となったことは確かだ、この地を伊勢神宮に寄進することで、一族支配を確保しようとした。それ以後この地は相馬御厨（そうまみくりや）と呼ばれるようになった。

戦国時代には原氏や高城氏を介して小田原北条氏に服属し、北条氏の滅亡と共に、徳川氏所領となり、陸前浜街道の宿場として栄えた。

明治期に入ると、明治2年に葛飾県、明治4年に印旛県、明治6年に千葉県へと歴属し、明治11年印旛下植生南相馬郡役所に属し、明治22年に町村制施行、明治29年東葛飾郡所管となった。

昭和29年富勢村の一部を合併し、次いで昭和30年、布佐町、湖北村と合併して、我孫子町となった。昭和45年に市政施行し、我孫子市となり、現在に至る。

歴史的にも伝統的にも利根川、手賀沼と深くかかわる地域であり、かつては農業を主たる産業とする地域であったが、近年は首都近郊都市として発展、変貌を遂げている。

本市は、長い歴史と固有の自然環境を有しており、今後も本市の歴史性という基盤の上に立って、その歴史と伝統を継承し、将来都市像である「手賀沼のほとり 心輝くまち」の実現を目指している。

位置と地勢

我孫子市は、千葉県北西部（東経140度04分・北緯35度52分）に位置し、南の景勝手賀沼、北の雄大な利根川に挟まれた（南北延長4km～6km）細長い蛇状馬背地形（東西延長14km、海拔最高21m）の概ね平坦な土地（面積43.15 k m²）で、第4期古層からなっている。

平坦で肥沃な土地は、豊かな水とみどり、そして良い気候と恵まれた米穀や蔬菜等の栽培に適するとともに、都心からJR常磐線でわずか35分という地理的条件から住宅地として、あるいは手賀沼と利根川の自然がおりなす四季の映り変わりは観光地としても絶好である。

隣接の市町は、南東に印西市、南西から北西には柏市があり、北東は利根川の対岸が茨城県取手市、利根町となっている。



消 防 庁 舎



消 防 本 部 ・ 西 消 防 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒 270-1166 我孫子市我孫子 1847-6	m ² 3,292.5	m ² 2,042	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨) 4階建	S 54. 9. 30



西 消 防 署 つ く し 野 分 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1164 我孫子市つくし野 3-21-1	m ² 805.68	m ² 263	鉄筋コンクリート造 平屋	S 53. 6. 21



東 消 防 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1101 我孫子市布佐 1114-3	m ² 2,037.7	m ² 608.948	鉄筋コンクリート造 2階建	S 62. 2. 12



東 消 防 署 湖 北 分 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1132 我孫子市湖北台 3-1-2	m ² 825.29	m ² 201.7	鉄筋コンクリート造 平屋	S 45. 5. 1

消防本部・消防署 所在地電話番号

我孫子市消防本部

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号(代表) 04-7184-0119

FAX番号 04-7184-0120

総務課(直通) 04-7181-7700

予防課(直通) 04-7181-7702

警防課(直通) 04-7181-7701

消 防 署 ・ 分 署

◎ 西消防署

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号 04-7184-8673

FAX番号 04-7184-0165

◎ 西消防署つくし野分署

〒270-1164

所在地 我孫子市つくし野3-21-1

電話番号 04-7184-2630

FAX番号 04-7185-8118

◎ 東消防署

〒270-1101

所在地 我孫子市布佐1114-3

電話番号 04-7189-2110

FAX番号 04-7189-5963

◎ 東消防署湖北分署

〒270-1132

所在地 我孫子市湖北台3-1-2

電話番号 04-7188-2217

FAX番号 04-7187-5757

我孫子市消防ダイジェスト（令和3年版）

市勢・消防予算（令和3年4月1日現在）

面積	人口
43.15 km ²	131,559 人
世帯数	消防予算
60,114 世帯	1,717,937 千円



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなきちさん

消防施設・職団員・設備状況（令和3年4月1日現在）

署・所等	消防職員	消防車両	消防水利
消防本部 1	実員数 166 人	指揮車 1 台	消火栓 1,323 基 防火水槽 479 基
消防署 2	うち再任用者 8 人	消防ポンプ車 5 台	
分署 2	平均年齢 39.6 歳	化学車 1 台	
消防団器具置場 2 1	(再任用除く)	はしご車 1 台	
ちば北西部消防指令センター	消防団員	救助工作車 1 台	
10 市共同	実員数 227 人	高規格救急車 5 台	
	平均年齢 41.6 歳	消防団ポンプ車 4 台	
		消防団積載車 17 台	

災害状況（令和3年中）

火災	救急	救助	通報
火災件数 19 件	出場件数 6,325 件	出動件数 88 件	受信件数 6,660 件
死者数 1 人	搬送人員 5,673 人	救助人員 47 人	1日平均 18.2 件
負傷者数 6 人	1日平均 17.3 件		

予防関係（令和3年12月31日現在）

防火対象物	危険物施設	幼年消防クラブ	女性防火クラブ
2,245 施設	貯蔵所 38 施設 取扱所 27 施設	12 団体 1,267 名	1 団体 46 名

総務関係

消防機構	1
消防本部事務分掌	2
消防署事務分掌	4
分署事務分掌	5
我孫子市の市勢	6
市勢と消防力の比較	6
市予算と消防予算の比較・人口当たりの額	6
消防力の整備指針との比較	7
消防職員の配置状況	8
消防職員階級別年齢調	8
消防職員勤続年数表	9
消防職員教育訓練状況	9
車両配置状況	10

予防関係

防火対象物数	11
用途別月別建築同意件数	12
防火対象物防火管理状況	13
中高層建物数	14
各種届出状況	15
署別危険物施設数	16
区分別危険物施設数	17
危険物施設等の申請状況	18
幼年女性防火委員会	19
あき地に繁茂した雑草等の除去についての現況	20

火災関係

署別火災発生状況	21
月別火災発生状況	21
年別火災件数及び損害額比較	22
火災出動状況	23
火災種別状況	23
原因別火災発生件数	23
時間別出火件数損害額	24
曜日別火災発生状況	25
四季別火災発生状況	25
月別気象状況	26
年間気象状況	26

警防関係（消防団含む）

各署々管轄区域	27
消防分布図	28
消防団員階級別年齢別数	29

消防団員職業構成	29
消防団員勤続年数	30
消防団員階級別勤続年数	30
消防団員年報酬及び出動手当	30
消防団車両及び施設の現況	31
消防水利の現況	32
消防ホース配置状況	32
消防署緊急車両使用状況	33

救急関係

年別救急出場状況	34
年齢区分別傷病程度別搬送人員状況	34
月別救急出場件数及び搬送人員状況	35
署別救急出場件数及び搬送人員状況	36
救急隊員が行った応急処置件数	37
事故種別年齢区分別搬送人員状況	38
事故種別傷病程度別搬送人員状況	38
時間別救急出場件数及び搬送人員状況	39
救急業務累年比較表	40
我孫子市内公共施設AED設置場所	41
我孫子市内ドクターヘリランデブーポイント	41

救助関係

年別救助出場状況	42
月別曜日別救助出場状況	43
時間別救助出場状況	44
事故種別発生場所別出場件数	45
事故種別発生場所別救助人員数	45
救助機械器具等保有状況	46

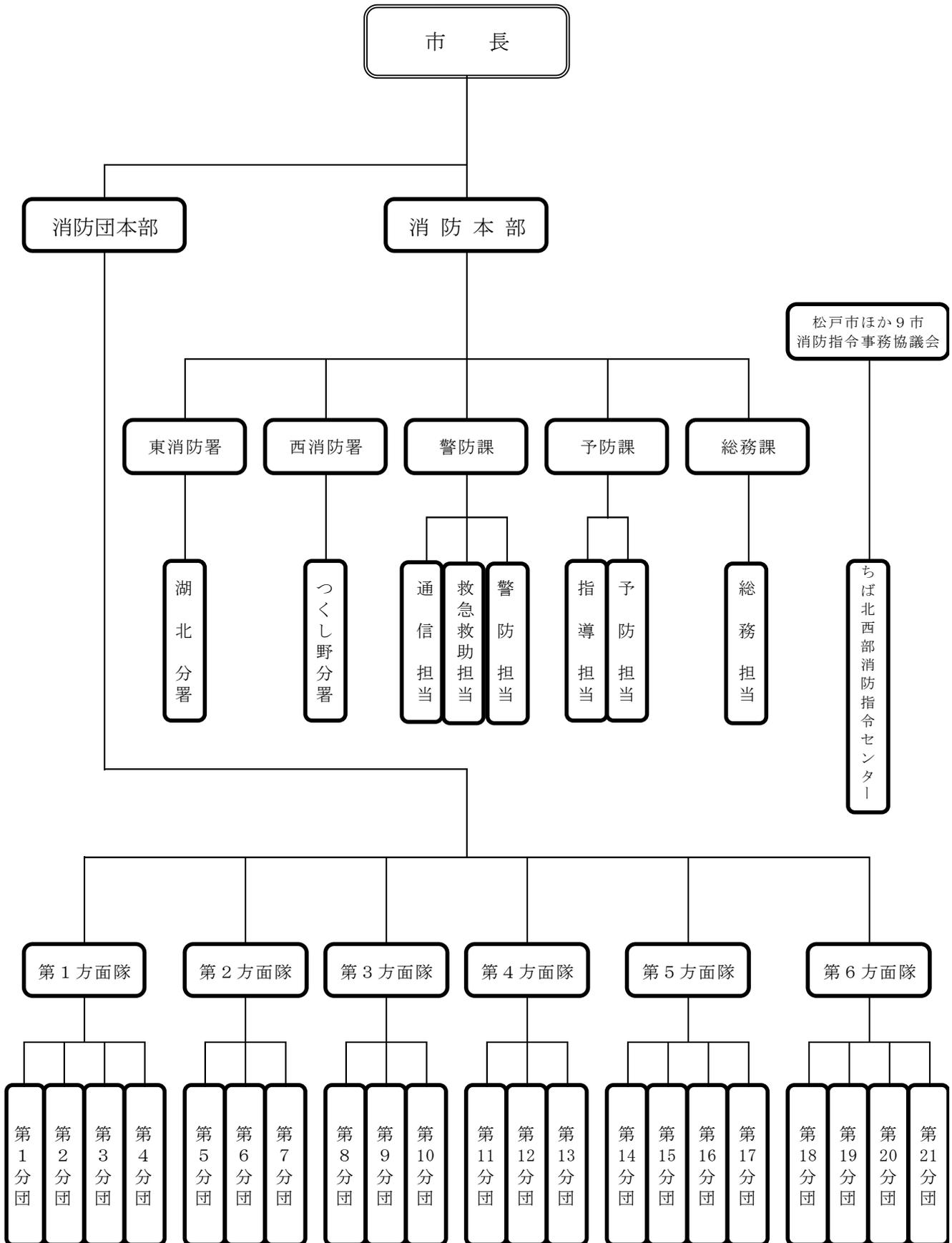
通信指令関係

消防通信系統図	47
無線局配置状況（デジタル無線・署活動系無線）	48
無線局一覧表（デジタル無線）	49
無線局一覧表（署活動系無線）	50
月別区分別119番等受信回数	51

付表

消防の沿革	52
歴代消防長	58
歴代消防団長	59

消防機構



消防本部事務分掌（令和3年4月1日現在）

総務課

総務担当

- 1 公印に関する事。
- 2 文書の收受、発送、整理及び保存に関する事。
- 3 情報の公開に関する事。
- 4 消防広報に関する事。
- 5 消防統計に関する事。
- 6 消防組織体制に関する事。
- 7 消防審議会に関する事。
- 8 消防計画に関する事。
- 9 消防職員の教育に関する事。
- 10 消防職員の任免、分限、懲戒、表彰及び服務に関する事。
- 11 消防職員の貸与品に関する事。
- 12 消防職員の福利厚生及び衛生管理に関する事。
- 13 消防職員の労働安全衛生に関する事。
- 14 消防職員の公務災害に関する事。
- 15 消防職員委員会に関する事。
- 16 消防長会に関する事。
- 17 儀式に関する事。
- 18 予算及び決算に関する事。
- 19 消防庁舎、消防車両等の管理及び整備に関する事。
- 20 財産の維持管理に関する事。
- 21 消防電算業務に関する事。

予防課

予防担当

- 1 火災の予防及び防火思想の啓発に関する事。
- 2 火災の原因及び損害調査に関する事。
- 3 火災証明に関する事。
- 4 火災及び災害統計に関する事。
- 5 危険物の規制に関する事。
- 6 防災協会の事業の推進及び事務に関する事。
- 7 幼年消防クラブ及び女性防火クラブの指導育成に関する事。

指導担当

- 1 建築確認の同意に関する事。
- 2 消防用設備等の設置及び指導に関する事。
- 3 防火管理に関する事。
- 4 火災予防査察に関する事。
- 5 あき地に繁茂した雑草等の除去に関する事。

警防課

警防担当

- 1 警防業務の計画に関する事。
- 2 災害対策に関する事。
- 3 火災防衛に関する事。
- 4 水防に関する事。
- 5 消防水利に関する事。
- 6 警防隊員の安全管理に関する事。
- 7 警防隊員の教育に関する事。
- 8 消防職員の訓練に関する事。
- 9 警防資器材の整備に関する事。
- 10 消防広域応援に関する事。
- 11 開発行為及び建築行為に係る消防施設に関する事。
- 12 警報の発令に関する事。
- 13 通信・指令施設及び設備の整備に関する事。
- 14 消防救急無線の共同運用に関する事。
- 15 消防指令センターの共同運用に関する事。
- 16 柏市・我孫子市消防通信指令事務協議会に関する事。
- 17 松戸市ほか9市消防指令事務協議会（通信指令業務を除く。）に関する事。
- 18 消防団の行事に関する事。
- 19 消防団員の任免、分限、懲戒、表彰及び服務に関する事。
- 20 消防団員の貸与品に関する事。
- 21 消防団員の福利厚生及び衛生管理に関する事。
- 22 消防団員の公務災害に関する事。
- 23 消防団員の教育に関する事。
- 24 消防団員の訓練に関する事。
- 25 消防団施設及び設備に関する事。
- 26 日本消防協会及び千葉県消防協会の消防団事業に関する事。

救急救助担当

- 1 救急業務及び救助業務の計画に関する事。
- 2 救急業務の証明に関する事。
- 3 医療機関等との連絡調整に関する事。
- 4 救急隊員及び救助隊員の安全管理に関する事。
- 5 救急隊員及び救助隊員の教育に関する事。
- 6 救急救命士に関する事。
- 7 応急手当、救急車の適正利用等の普及啓発に関する事。
- 8 自動体外式除細動器（AED）の設置、貸出及び普及に関する事。
- 9 救急統計及び救助統計に関する事。
- 10 救急車両及び救助車両の整備に関する事。
- 11 救急資器材及び救助資器材の整備に関する事。
- 12 東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会に関する事。

通信担当

- 1 松戸市ほか9市消防指令事務協議会（通信指令業務に限る。）に関する事。

消防署事務分掌（令和3年4月1日現在）

総務警防担当

- 1 文書の收受及び保存に関する事。
- 2 署員の勤務配置に関する事。
- 3 署員の教育訓練に関する事。
- 4 庁舎及び物品の管理に関する事。
- 5 消防署の庶務に関する事。
- 6 警防調査に関する事。
- 7 水火災警報及び防御に関する事。
- 8 消防機械器具の運用管理に関する事。
- 9 消防団の訓練指導に関する事。
- 10 消防車両の運用管理に関する事。
- 11 通信・指令設備の運用管理に関する事。
- 12 消防通信の教育訓練に関する事。

予防担当

- 1 火災予防査察に関する事。
- 2 我孫子市火災予防条例（昭和37年条例第12号）に基づく各種届出に関する事。
- 3 火災原因調査に関する事。
- 4 雑草等の除去に関する事。

救急救助担当

- 1 救急業務に関する事。
- 2 救急業務の証明に関する事。
- 3 救急医療機関に関する事。
- 4 救急医療情報に関する事。
- 5 救急機器及び資器材の運用管理に関する事。
- 6 救助業務に関する事。
- 7 救助資器材の運用管理に関する事。
- 8 救助技術の教育訓練に関する事。
- 9 救急救助業務の統計に関する事。

指揮統制担当

- 1 火災、救急その他災害の通報に係る受理に関する事。
- 2 火災、救急その他災害出動に係る指揮統制に関する事。
- 3 火災、救急その他災害出動に係る通信統制に関する事。
- 4 火災、気象情報その他災害情報の収集及び伝達に関する事。
- 5 気象予報及び水火災警報の発令に関する事。
- 6 通信・指令施設及び設備の運用管理に関する事。
- 7 防災行政無線の運用に関する事。
- 8 消防通信の教育訓練に関する事。
- 9 ちば北西部消防指令センターとの連絡調整に関する事。

分署事務分掌（令和3年4月1日現在）

総務警防担当

- 1 文書の收受及び保存に関する事。
- 2 署員の勤務配置に関する事。
- 3 署員の教育訓練に関する事。
- 4 庁舎及び物品の管理に関する事。
- 5 消防署の庶務に関する事。
- 6 警防調査に関する事。
- 7 水火災警報及び防御に関する事。
- 8 消防機械器具の運用管理に関する事。
- 9 消防団の訓練指導に関する事。
- 10 消防車両の運用管理に関する事。
- 11 通信・指令設備の運用管理に関する事。
- 12 消防通信の教育訓練に関する事。

予防救急担当

- 1 火災予防査察に関する事。
- 2 我孫子市火災予防条例に基づく各種届出に関する事。
- 3 火災原因調査に関する事。
- 4 救急業務に関する事。
- 5 救急業務の証明に関する事。
- 6 救急医療機関に関する事。
- 7 救急医療情報に関する事。
- 8 救急機器及び資器材の運用管理に関する事。
- 9 救急業務の統計に関する事。
- 10 雑草等の除去に関する事。

我孫子市の市勢

1 我孫子市の人口・世帯数・面積

(令和3年4月1日現在)

人 口	世 帯 数	面 積 (k m ²)
131,559	60,114	43.15

2 市勢と消防力の比較

消防職員1人当たり (実員 166名)			消防団員1人当たり (実員 227名)			消防ポンプ自動車1台当たり (消防団車両含む26台)		
人口	世帯数	面積 (k m ²)	人口	世帯数	面積 (k m ²)	人口	世帯数	面積 (k m ²)
793	362	0.260	580	265	0.190	5,060	2,312	1.660

3 市予算と消防予算の比較・人口当たりの額

年 度	予 算 市一般予算(当初) (千円)	消防予算(当初) (千円)	市一般予算と消防 予算の割合(%)	市民一人当たりの消防費 負担額 (円)
13年	30,890,000	1,470,692	4.8	11,370
14年	29,910,000	1,528,857	5.1	11,803
15年	29,630,000	1,525,788	5.1	11,537
16年	35,072,000	1,494,299	4.3	11,262
17年	30,634,000	1,510,287	4.9	11,372
18年	30,571,000	1,532,006	5.0	11,491
19年	31,452,000	1,504,798	4.8	11,145
20年	31,310,000	1,533,341	4.9	11,270
21年	31,920,000	1,740,308	5.5	12,780
22年	32,460,000	1,565,113	4.8	11,491
23年	34,330,000	1,772,627	5.2	13,076
24年	34,960,000	1,734,547	5.0	12,918
25年	36,380,000	1,540,408	4.2	11,516
26年	36,500,000	1,568,402	4.3	11,765
27年	38,500,000	1,566,309	4.1	11,773
28年	39,280,000	1,641,815	4.2	12,480
29年	37,660,000	1,639,827	4.4	12,465
30年	38,220,000	1,942,649	5.1	14,766
31年	37,960,000	1,689,736	4.5	12,844
令和2年	41,250,000	1,742,614	4.2	13,246
令和3年	46,380,000	1,717,937	3.7	13,058

消防力の整備指針との比較

1 消防装備基準比較

(令和3年4月1日現在)

区分 車両	消防力の 整備指針 基準台数	現有台数	不足台数	充足率(%)
指揮車	1	1		100.0
消防ポンプ自動車	6	5	1	83.3
救急車	6	5	1	83.3
梯子車	2	1	1	50.0
化学車	1	1		100.0
工作車	2	1	1	50.0

消防力の整備指針とは、市町村が目標とすべき消防力の整備水準を示すものです。

市町村は、その保有する消防力の水準を総点検した上で、この指針の定める施設及び人員を目標として、その地域の実情に即した適切な消防体制を整備することが求められています。

2 現有台数に対する基準人員数と消防職員数の比較

(令和3年4月1日現在)

区分 担当別	基準数	現有職員数	不足数	充足率(%)
指揮隊員	9	8	1	88.9
消防隊員	76	54	22	71.1
救急隊員	38	38	0	100.0
救助隊員	32	22	10	68.8
予防要員	11	7	4	63.6
通信員※		※12		
庶務処理等に必要な人員	18	25	△1	138.9
計	184	154	30	83.7

※ちば北西部消防指令センターで共同運用（人数はセンター及び指揮統制係の合計数）

※計の現有職員数は通信員の12名を除いた数

3 消防職員実員累年比較

(令和3年4月1日現在)

階級 年度	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
23	1	8	52	22	29	17	17		146
24	1	8	46	25	30	15	23		148
25	1	8	41	29	30	15	24		148
26	1	8	39	34	29	15	24		150
27	1	9	37	36	27	16	26		152
28	1	9	37	37	27	17	27		155
29	1	9	38	36	29	20	23		156
30	1	11	36	35	31	22	20		156
31	1	11	37	37	30	19	23		158
令和2	1	11	38	34	28	23	25		160
令和3	1	11	33	35	39	20	27		166

消防職員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

階級 所属		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
		消防長	1							
消防本部	次長		2							2
	総務課		1 (1)	1	2	1		6		11
	予防課		1	2	2	2				7
	警防課		2	3	5	2				12
	西消防署		2 (1)	10	11	20	11	8		62
つくし野分署		1	6	4	5	3	5		24	
東消防署		1	5	7	4	4	3		24	
湖北分署		1	5	4	6	2	5		23	
計		1	11	32	35	40	20	27		166

※ () は次長が総務課長・西消防署長を兼務

消防職員階級別年齢調

(令和3年4月1日現在)

階級 年齢		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
		25歳未満						4	18	
25歳～30歳未満						12	9		21	
30歳～35歳未満						16	3		19	
35歳～40歳未満				1	13	1			15	
40歳～45歳未満				13	3				16	
45歳～50歳未満			7	21					28	
50歳～55歳未満		4	11						15	
55歳～60歳	1	7	14						22	
再任用						8			8	
計		1	11	32	35	40	20	27		166
最高年齢		59	59	59	49	42	35	29		
最低年齢			51	46	38	31	23	18		

※ 再任用は年齢から除きます。

消防職員勤続年数表

(令和3年4月1日現在)

年数 区分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
	消防職員 (再任用含)	35	27	20	11	22	15	9	

消防職員教育訓練状況

(令和4年3月31日現在)

区 分		期 名	期 間	受講人員(人)
県消防学校	初任科	第171期	111日	6
	救急科	第48期	41日	2
	救急科	第49期	41日	2
	救助科	第50期	23日	1
	中級幹部科	第38期	8日	1
	訓練指導科	第47期	10日	2
	予防査察科	第16期	11日	1
	はしご自動車等講習会	第32回	4日	2
救急救命士研修所等	救急救命士新規養成課程研修	第60期	115日	1
	救命士病院研修		4日	21
	救命士就業前病院研修		20日	3

車 両 配 置 状 況

(令和3年4月1日現在)

配置場所	車 両 名	登 録 番 号	配置年月日	車 種		装 備 等
消防本部	指令1号車	柏800さ2468	H29. 1	トヨタ	ハイエース	火災予防指導車
	指令2号車	野800さ6909	H16. 8	日産	バネット	火災予防指導車
	消防長車	柏334つ358	H29. 8	トヨタ	アルファード	リース車両
	連絡車	柏500す6926	H20. 6	日産	セレナ	
	連絡車	柏500せ7939	H21. 10	日産	セレナ	
	連絡車	柏480い・789	H23. 3	三菱	ミニキャブバン	
	連絡車	柏500ち3163	H25. 5	日産	マーチ	
	連絡車	柏500と6737	H31. 1	日産	マーチ	
	連絡車	柏400さ8543	H29. 6	トヨタ	プロボックス	
	マイクロバス	野田200さ・306	H17. 8	日産	シビリアン	
西消防署	西署水槽1号車	柏830さ2102	R3. 2	日野	レンジャー	水槽2500ℓ
	西署化学1号車	柏800は・・86	H25. 2	日野	レンジャー	水1300ℓ薬液500ℓ積載
	西署梯子1号車	柏830さ1903	H31. 3	日野		伸梯37m
	西署救助1号車	柏800は・・77	H24. 1	日野	レンジャー	照明装置、クレーン
	西署救急1号車	柏800さ1827	H26. 2	トヨタ	ハイメディック	高規格救急自動車
	西署救急2号車	柏800さ2278	H28. 2	トヨタ	ハイメディック	高規格救急自動車
	西署救急3号車(予備車)	柏800さ1377	H24. 2	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	我孫子指揮1号車	柏800さ1085	H22. 10	日産	キャラバン	災害現場指揮車
	西署ボートトレーラ	柏830さ2003	R 2. 3	ソレックス		
	西署救助1号艇	第232 -40311号	H21. 7	アキレス	HB-420	船外機30ps
	西署救助2号艇	第232 -41682号	H24. 2	アキレス	FRB-104	船外機10ps
	西署資材1号車	野800さ8316	H18. 6	日産	アトラス	資機材搬送車
	西署資材2号車	柏800さ1294	H23. 9	いすゞ	エルフ	資機材搬送車
	西署貨物自動車	柏480 え 192	R3. 3	スズキ	キャリイ	
つくし野分署	つくし野水槽1号車	柏800さ1201	H23. 2	日野	デュトロ	水槽600ℓ
	つくし野水槽2号車	野800さ2853	H13. 2	日野	レンジャー	水槽1500ℓ(予備車)
	つくし野救急1号車	柏830さ1901	H30. 12	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	つくし野指令1号車	柏880あ・407	H30. 10	日産	NV100 クリッパー	火災予防指導車
東消防署	東署指令1号車	柏830さ1911	R 1. 11	日産	エクストレイル	火災予防指導車
	東署水槽1号車	柏800さ2690	H30. 2	日野	デュトロ	水槽1300ℓ
	東署水槽2号車	野800さ7912	H17. 12	日野	レンジャー	水槽1500ℓ
	東署救急1号車	柏830す2102	R2. 12	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	東署貨物車	野400せ2236	H16. 12	日産	バネット	
	東署ボートトレーラ	柏830す1911	R 1. 11	ソレックス		
	東署救助艇	第230 -39680号	H17. 4	アキレス	HB-385	船外機30ps
湖北分署	湖北水槽1号車	野800さ6266	H15. 12	日野	レンジャー	水槽1500ℓ
	湖北救急1号車	柏800さ2467	H29. 1	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	湖北指令1号車	柏880あ270	H26. 11	日産	NV100 クリッパー	火災予防指導車

※車両名中の網掛けは緊急車両登録車を示す。

防火対象物数

(令和3年12月31日現在)

令別表 第1項目		署別 用途別	西消防署	つくし野 分署	東消防署	湖北分署	計
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場				1	1
	ロ	公会堂又は集会場	9	11	6	7	33
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等					
	ロ	遊技場又はダンスホール	4			1	5
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	ニ	カラオケボックス等	1	1			2
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの					
	ロ	飲食店	14	16		5	35
(4)		百貨店、マーケット等	54	19	18	17	108
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3		1		4
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	493	310	96	223	1,122
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	16	13	4	5	38
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	15	7	21	13	56
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)	15	11	14	18	58
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	3	4	5	12	24
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	38	35	11	22	106
(8)		図書館、博物館、美術館等	2				2
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場	1	1	1	1	4
(11)		神社、寺院、教会等	3	8	4	4	19
(12)	イ	工場又は作業場	10	7	8	6	31
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	5	9		3	17
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
(14)		倉庫	6	9	12	7	34
(15)		前各項に該当しない事業所	103	35	31	23	192
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	124	67	19	23	233
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	63	33	6	6	108
(16の2)		地下街					
(16の3)		準地下街					
(17)		重要文化財等に認定された建造物	7		6		13
(18)		延長50メートル以上のアーケード					
(19)		市町村長の指定する山林					
(20)		総務省令で定める舟車					
合 計			989	596	263	397	2,245

用途別月別建築同意件数

(令和3年12月31日現在)

令別表 第1項目	用途別	月別												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場													
	ロ	公会堂又は集会場													
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等													
	ロ	遊技場又はダンスホール													
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等													
	ニ	カラオケボックス等													
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの													
	ロ	飲食店						1							1
(4)		百貨店、マーケット等				1	1	1				1			4
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等													
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1		1		2	1	3	1		3	2	1	15
(6)	イ	病院・診療所又は助産所							1						1
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	1	1											2
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)			2		1								3
	ニ	幼稚園又は特別支援学校													
(7)		小・中学校、高等学校、大学等													
(8)		図書館、博物館、美術館等													
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等													
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場													
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場													
(11)		神社、寺院、教会等													
(12)	イ	工場又は作業場	1			1									2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ													
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場								1	4			1	6
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫													
(14)		倉庫									2				2
(15)		前各項に該当しない事業所		1	3		1					2		2	9
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	1		1	1		2			1				6
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)													
(16の2)		地下街													
(16の3)		準地下街													
(17)		重要文化財等に認定された建造物													
(18)		延長50メートル以上のアーケード													
(19)		市町村長の指定する山林													
(20)		総務省令で定める舟車													
		専用住宅等			1	1	6	2	4	5	1		1	4	25
		合計	4	2	8	4	12	7	8	12	3	5	3	8	76

防火対象物防火管理状況

(令和3年12月31日現在)

令別表 第1項目	種別	用途別	甲種防火対象物			乙種防火対象物		
			防火管理者 を必要とする 防火対象物	防火管理者 選任状況	消防計画書 届出状況	防火管理者 を必要とする 防火対象物	防火管理者 選任状況	消防計画書 届出状況
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1	1	1			
	ロ	公会堂又は集会場	16	15	14	9	8	8
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	3	3			
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2	2	1			
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの						
	ロ	飲食店	16	15	15	16	15	13
(4)		百貨店、マーケット等	63	54	54	21	13	10
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3	3	3			
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	129	111	101	1	1	
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	12	12	11			
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	41	41	41			
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)	26	26	25	2	2	2
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	12	12	12			
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	28	28	28			
(8)		図書館、博物館、美術館等	1	1	1			
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場						
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場						
(11)		神社、寺院、教会等	3	2	1	4	4	2
(12)	イ	工場又は作業場	3	3	2			
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場						
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
(14)		倉庫	1	1	1			
(15)		前各項に該当しない事業所	31	31	30	7	4	4
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	136	100	78	21	16	11
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	20	10	10	2	1	1
(16の2)		地下街						
(16の3)		準地下街						
(17)		重要文化財等に認定された建造物	1	1	1			
(18)		延長50メートル以上のアーケード						
(19)		市町村長の指定する山林						
(20)		総務省令で定める舟車						
合 計			549	472	433	83	64	51

中高層建物数

(令和3年12月31日現在)

令別表 第1項目	用途別	階 数														計
		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階			
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場														
	ロ	公会堂又は集会場														
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等														
	ロ	遊技場又はダンスホール		1												1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
	ニ	カラオケボックス等														
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの														
	ロ	飲食店														
(4)		百貨店、マーケット等			1											1
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等						1								1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	73	140	23	17	20	8	10	2	3	3	4	6		309
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	2	1	2	1										6
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	5	3												8
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)														
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2													2
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	30	1	1		1	1		1						35
(8)		図書館、博物館、美術館等														
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等														
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場														
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場														
(11)		神社、寺院、教会等														
(12)	イ	工場又は作業場	2													2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ														
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	1	1												2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
(14)		倉庫														
(15)		前各項に該当しない事業所	21	4		2										27
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	36	31	18	11	3	2		2	1					104
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	18	10	8	5	1									42
(16の2)		地下街														
(16の3)		準地下街														
(17)		重要文化財等に認定された建造物														
(18)		延長50メートル以上のアーケード														
(19)		市町村長の指定する山林														
(20)		総務省令で定める舟車														
合計			191	192	52	36	26	11	10	5	4	3	4	6	540	

各種届出状況

(令和3年12月31日現在)

	内 容	件 数
1	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出	4
2	危険物保安監督者選任又は解任届出	5
3	防火管理者選任又は解任届出	149
4	消防計画作成又は変更届出	170
5	消防用設備等点検結果報告書	720
6	防火対象物点検結果報告書	39
7	消防用設備等設置届出	208
8	消防用設備等着工届出	76
9	禁止行為解除承認申請書	17
10	防火対象物使用開始届出	49
11	炉・厨房設備・ボイラー・火花を生ずる設備等の届出	6
12	発電・変電・蓄電池設備等設置届出	23
13	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生するおそれのある行為の届出	44
14	煙火打ち上げ・仕掛け届出	3
15	催物開催届出	1
16	水道断水・減水届出	0
17	道路工事届出	99
18	露店等の開設届出	4
19	少量危険物・指定可燃物貯蔵又は取扱い・廃止の届出	4
20	自衛消防訓練通知書	495
21	り災証明願	26
合 計		2,142

署別危険物施設数

(令和3年12月31日現在)

区分 署名	貯蔵所							取扱所				合計	
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所		小計
西消防署	6	1		8				15	5	7		12	27
つくし野分署	2			2		1		5	5	2		7	12
東消防署	1		1	5		5		12	2	2		4	16
湖北分署	1	1		4				6	2	2		4	10
合計	10	2	1	19		6		38	14	13		27	65

区分別危険物施設数

(令和3年12月31日現在)

製造所等の別 区分	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所		小計
5倍以下		6	1	1	13		6		27	1	4		5	32
5倍を越え 10倍以下		4	1		2				7	1	7		8	15
10倍を越え 50倍以下					1				1	3	2		5	6
50倍を越え 100倍以下					3				3					3
100倍を越え 150倍以下										1			1	1
150倍を越え 200倍以下										1			1	1
200倍を越え 1,000倍以下										7			7	7
1,000倍を 越えるもの														
計		10	2	1	19		6		38	14	13		27	65
種 別	第1類													
	第2類													
	第3類													
	第4類		10	2	1	19		6	38	14	13		27	65
	第5類													
	混在													

危険物施設等の申請状況

(令和3年12月31日現在)

区分 製造所の別	許 可				完成検査			仮 使 用	計
	設 置	変 更	転 出 他 行 政 庁	転 入 他 行 政 庁	設 置	変 更	転 入 他 行 政 庁		
製 造 所									
屋 内 貯 蔵 所									
屋外タンク貯蔵所									
屋内タンク貯蔵所									
地下タンク貯蔵所	1								1
簡易タンク貯蔵所									
移動タンク貯蔵所									
屋 外 貯 蔵 所									
給 油 取 扱 所		3				3		2	8
販 売 取 扱 所									
一 般 取 扱 所	2								2
計	3	3				3		2	11

完成検査前検査（水圧）申請	
完成検査前検査（水張）申請	
仮貯蔵・仮取扱承認申請	1

幼年女性防火委員会

委員会は我孫子市民で構成する幼年消防クラブ及び女性防火クラブの育成を図り、もって火災予防思想の高揚と防災体制の充実に資するとともに、地域住民の安全を確保することを目的としている。

委員の構成(8名)

(令和3年12月31日現在)

会 長	1	副会長	2	委 員	5
-----	---	-----	---	-----	---

幼年消防クラブの目的

火災の原因の中で子供の火遊びによる火災が依然として多いことから、幼年期において正しい火の取扱いに対する「しつけ」をするとともに、消防の仕事をよく理解させることにより火遊び等による火災の減少を図ろうとするものです。

女性防火クラブの目的

建物火災のうち約半数が一般住宅火災であることから、家庭における実質の火気取扱責任者である婦人が、火災予防の知識を習得し、火を使用する器具等を火災予防上安全に使用できるようにするとともに、消火器等初期消火器具の使い方、通報連絡、避難等の行動的知識を習熟することにより、一般住宅等の火災を防止し、あわせて地域の隣保協力体制と連帯意識の高揚を図り、平和な家庭づくり安全な地域社会づくりを目指すことにあります。

幼年消防・女性防火クラブ結成状況

(令和3年12月31日現在)

幼年消防クラブ		女性防火クラブ	
クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
12	1267	1	46

あき地に繁茂した雑草等の除去についての現況

(令和3年12月31日現在)

	西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	計
該当地 (件)	129	95	234	110	568
該当地面積 (㎡)	37,755.44	37,196.77	62,906.14	25,191.26	163,049.61
刈取済件数 (件)	123	69	222	102	516
刈取済面積 (㎡)	36,392.44	20,551.74	60,950.13	23,319.04	141,213.35
未処理件数 (件)	6	26	12	8	52
未処理面積 (㎡)	1,363.00	16,645.03	1,956.01	1,872.22	21,836.26

刈取済件数割合	95.3%	72.6%	94.9%	92.7%	90.8%
刈取済面積割合	96.4%	55.3%	96.9%	92.6%	86.6%

署別火災発生状況

(令和3年12月31日現在)

区分 署	火災件数							損害額 (単位: 千円)						
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物	林野	車両	船舶	航空	その他	計
西消防署	5					2	7	26,108					14	26,122
つくし野分署	5					1	6	25,616						25,616
東消防署	1						1	5,060		150				5,210
湖北分署	4		1				5	1,829		42				1,871
計	15		1			3	19	58,613		192			14	58,819

月別火災発生状況

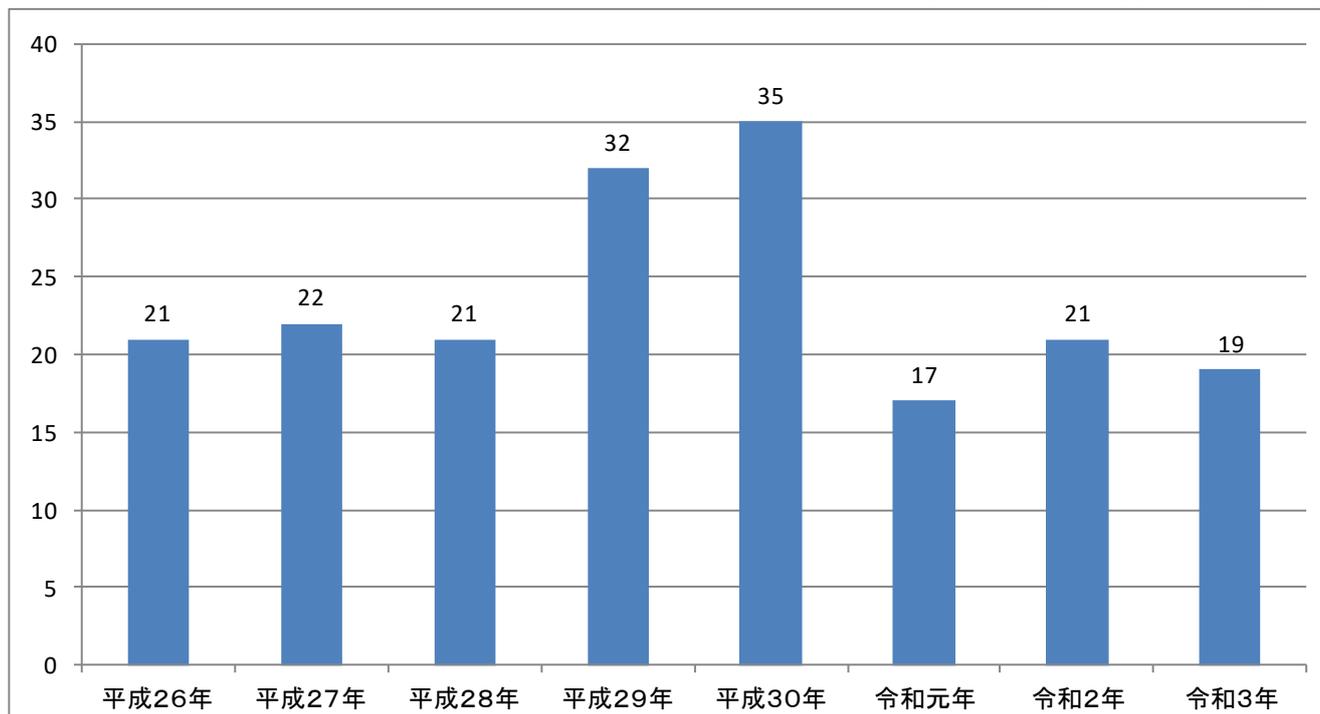
(令和3年12月31日現在)

区分 月別	種 別						建 物 火 災				死傷者		焼損面積		損害額(単位: 千円)					
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	焼 損 棟 数			り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	建 物 床/表 (㎡)	山 林 原 野 (a)	建 物	車 両	そ の 他	計
								全 焼	半 焼	部 分 焼										
1	2					2	2	1	2	3	15		2	251		25,602			25,602	
2	1				1	2	2	1	2	4	6	12	1	131		5,060	150	8	5,218	
3	2					2			2	2	3		1	1		19			19	
4			1			1											42		42	
5					1	1														
6	3					3	1	1	2	3	4			67		26,090			26,090	
7	1					1			1	1	4					1			1	
8	1				1	2			1	1	2			1		3		6	9	
9																				
10	1					1	1			1	2		2	80		1,824			1,824	
11	1					1			1	1	2									
12	3					3			3	2	4		1			14			14	
計	15		1			3	19	5	3	16	20	48	1	6	531		58,613	192	14	58,819

年別火災件数及び損害額比較表

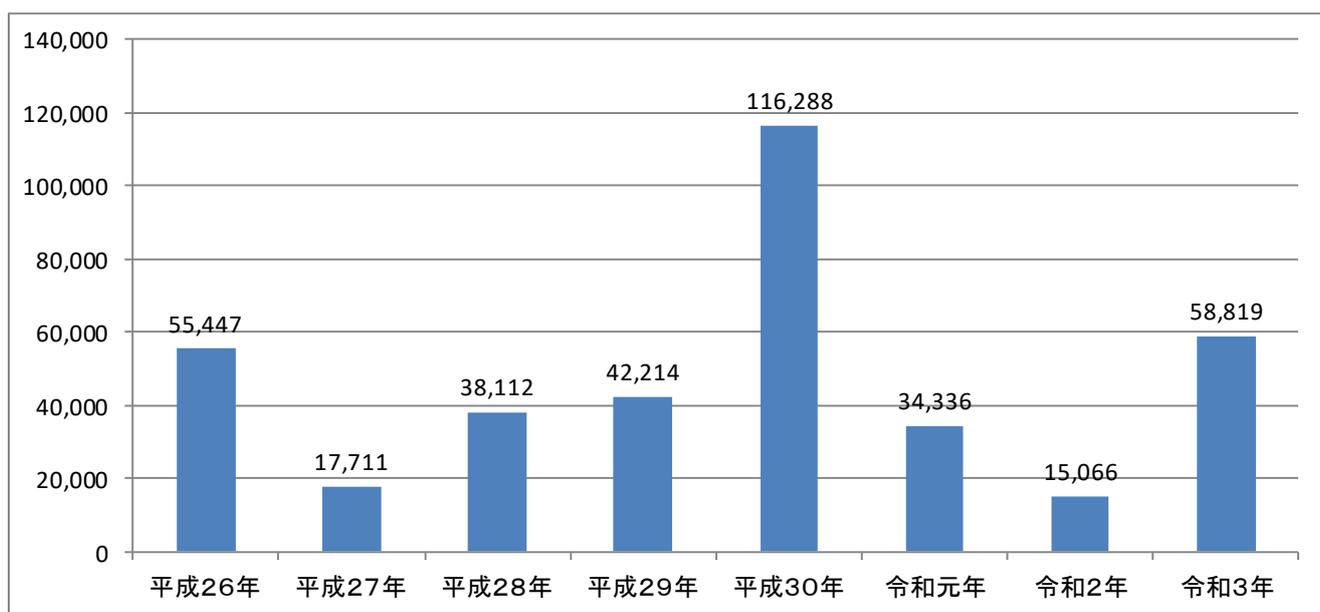
火災件数

(令和3年12月31日現在)



損害額

(令和3年12月31日現在) 単位：千円



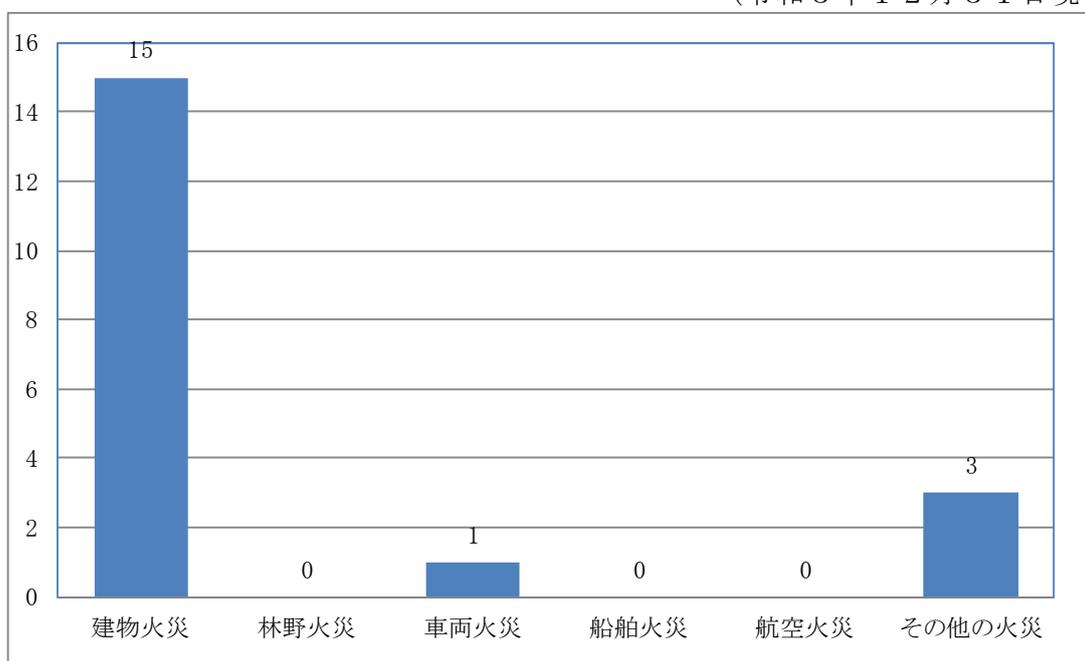
火災出動状況

(令和3年12月31日現在)

種別	月別												計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
火災件数	2	2	2	1	1	3	1	2		1	1	3	19	
出動ポンプ台数 (放水)	署	6	3		1	1	8		1		2		22	
	団	2											2	
出動延人員	署	58	59	36	14	10	78	26	15		20	26	55	397
	団	43	37								12			92

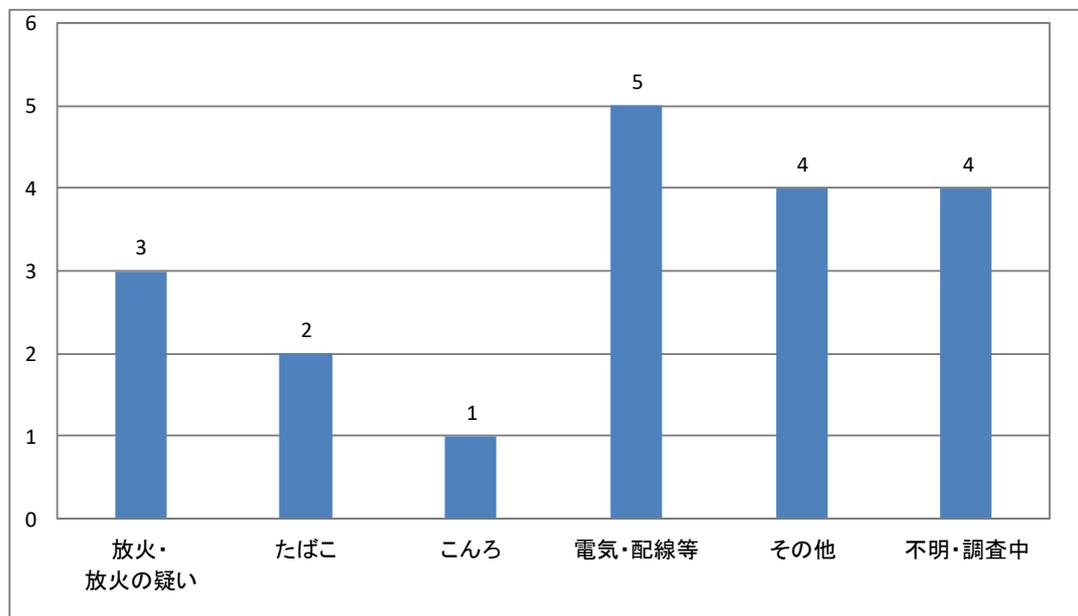
火災種別状況

(令和3年12月31日現在)



原因別火災発生件数

(令和3年12月31日現在)



時間別出火件数損害額

(令和3年12月31日現在)

区分 時間	火災件数							損害額 (単位：千円)						
	建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空 火災	その 他の 火災	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空	その 他	計
0～1時														
1～2時														
2～3時														
3～4時														
4～5時	1						1	24,078						24,078
5～6時														
6～7時														
7～8時	1						1	1,824						1,824
8～9時	2						2	31						31
9～10時	1						1	2,009						2,009
10～11時						1	1					6		6
11～12時														
12～13時														
13～14時	1						1	5,060		150				5,210
14～15時														
15～16時	2						2							
16～17時						1	1							
17～18時	2		1			1	4	4		42			8	54
18～19時	1						1	1						1
19～20時	2						2	331						331
20～21時														
21～22時	1						1	25,274						25,274
22～23時														
23～24時														
不 明	1						1	1						1
計	15		1			3	19	58,613		192			14	58,819

曜日別火災状況

(令和3年12月31日現在)

曜日	火災件数							損害額（単位：千円）						
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物	林野	車両	船舶	航空	その他	計
日						1	1						6	6
月	2						2	2,027						2,027
火						1	1						8	8
水	2						2	24,079						24,079
木	3						3	1,837						1,837
金	4						4	25,608						25,608
土	4		1			1	6	5,062		192				5,254
不明														
計	15		1			3	19	58,613		192			14	58,819

四季別火災発生状況

(令和3年12月31日現在)

時間	火災件数							損害状況								
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物		林野		車両	船舶	航空	その他	
								焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)					
春 3月～5月	2		1			1	4	1	19				42			
夏 6月～8月	5					1	6	68	26,094							6
秋 9月～11月	2						2	80	1,824							
冬 12月～2月	6					1	7	382	30,676				150			8
不明																
計	15		1			3	19	531	58,613				192			14

月別気象状況

(令和3年12月31日現在)

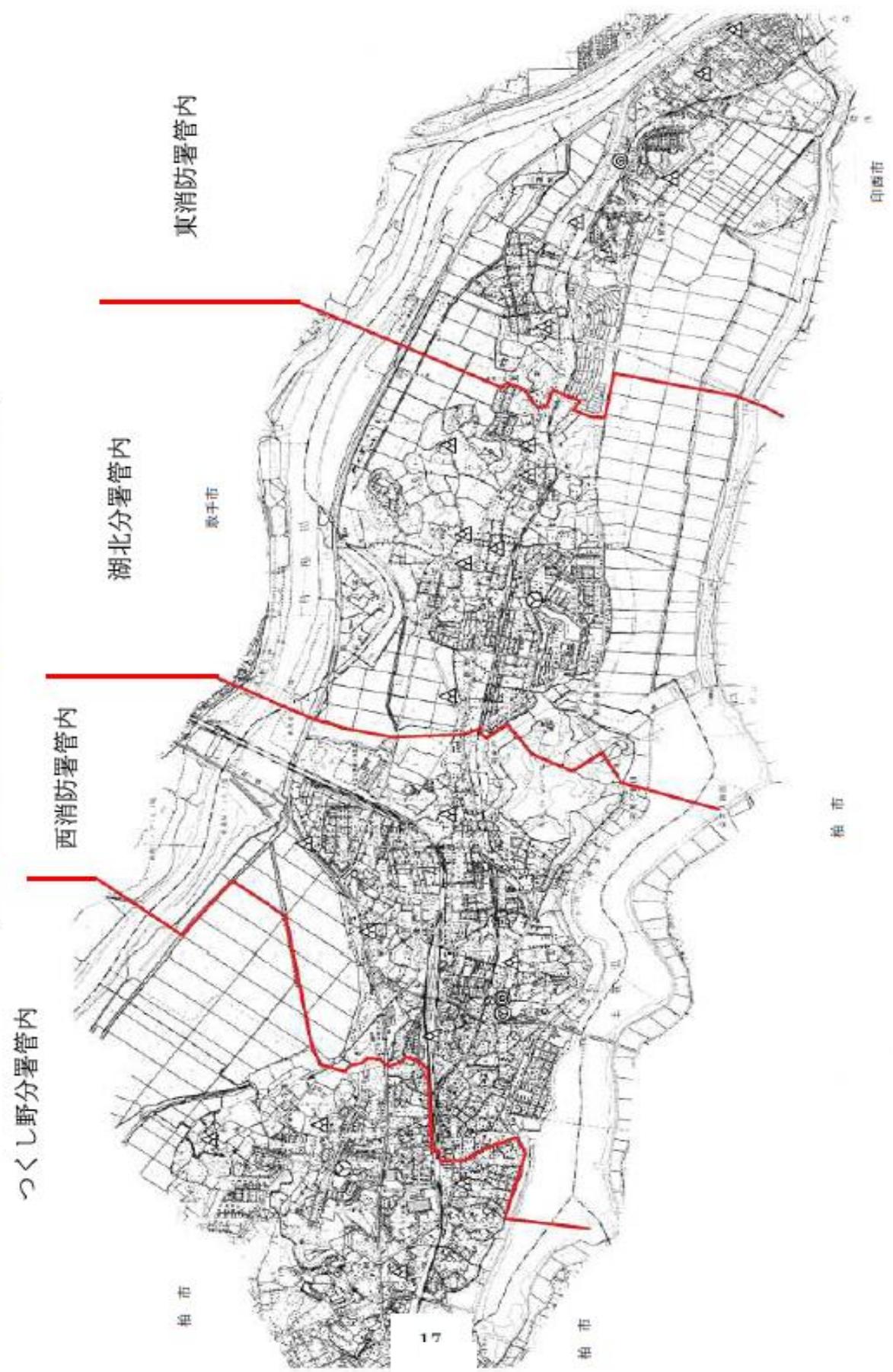
種別 月別	平均風速 (m/s)	最多風向 (方位)	最大瞬間			平均気温 (℃)	湿度		気圧		雨量	
			風速 (m/s)	風向 (方位)	起時 (日・時間)		平均相対 (%)	平均実効 (%)	平均現地 (hPa)	平均海面 (hPa)	月積算 (mm)	年積算 (mm)
1	2.9	北北西	18.3	西北西	30.11:10	4.9	58.3	58.5	1015.2	1018.8	28.0	28.0
2	2.9	北北西	23.1	西北西	15.16:30	7.6	45.4	45.9	1011.1	1014.6	56.0	84.0
3	3.1	南南西	24.3	西北西	14.11:29	11.8	61.7	59.6	1013.8	1017.3	145.5	229.5
4	3.5	南南西	22.1	南南西	30.00:02	14.2	59.4	59.7	1014.2	1017.7	117.0	346.5
5	3.5	南南西	21.5	西南西	01.19:59	19.1	71.7	70.8	1006.0	1009.4	75.0	421.5
6	2.7	南東	21.4	南南西	04.17:42	22.2	76.6	75.6	1006.9	1010.3	82.5	504.0
7	2.6	東北東	15.4	北北東	11.16:36	25.4	82.2	82.1	1007.2	1010.6	200.5	704.5
8	3.3	南南西	25.4	南南西	09.17:08	27.1	79.8	79.8	1006.7	1010.0	263.5	968.0
9	2.9	東北東	15.3	南南西	22.14:23	21.7	82.5	82.1	1011.7	1015.0	98.5	1066.5
10	2.7	北北西	21.8	北	01.19:57	17.4	77.3	77.4	1015.2	1018.7	156.5	1223.0
11	2.2	北北西	15.3	北北西	27.11:50	12.9	66.6	67.4	1012.6	1016.1	52.5	1275.5
12	2.6	北北西	21.7	西北西	17.21:49	7.0	59.2	59.8	1012.4	1016.0	111.0	1386.5

年間気象状況

(令和3年12月31日現在)

種別 年	平均風速 (m/s)	最多風向 (方位)	最大瞬間			平均気温 (℃)	湿度		気圧		雨量	
			風速 (m/s)	風向 (方位)	起時 (月日・時間)		平均相対 (%)	平均実効 (%)	平均現地 (hPa)	平均海面 (hPa)	月最大 (月・mm)	年積算 (mm)
31・R1	2.9	西南西	39.9	北	9/9 04:59	15.8	71.8	71.7	1010.6	1014.4	10月 314.5	1205.5
R2	3.0	北北東	30.3	北北東	4/13 13:57	15.5	74.6	74.6	1010.4	1014.3	6月 146.0	937.5
R3	2.9	北北西	25.4	南南西	8/9 17:08	15.9	68.4	68.2	1011.1	1014.5	263.5 8月	1386.5

各署々管轄区域



消防団員階級別・年齢別数

(令和3年4月1日現在) 単位:人

階級 年齢	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
18歳～25歳					1			9	10
26歳～30歳				2	4	4	5	12	27
31歳～35歳				5	1	3	4	16	29
36歳～40歳				6	4	6	5	17	38
41歳～45歳			1	2	4	4	3	24	38
46歳～50歳			1	3	5	3	2	33	47
51歳～55歳			4		1		1	16	22
56歳～60歳		2		2		1		4	9
61歳以上	1	1		1	1		1	2	7
計	1	3	6	21	21	21	21	133	227

消防団員職業構成

(令和3年4月1日現在) 単位:人

農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気 ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業
16	1	0	0	51	27	11	11

卸売 小売業 飲食業	金融業 保険業	不動産業	サービス業	公務員	その他	合計
20	5	7	47	19	12	227

消防団員勤続年数

(令和3年4月1日現在) 単位：人

年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
人数	35	44	43	40	36	16	9	4	227

消防団員階級別勤続年数

(令和3年4月1日現在) 単位：人

階級 在職年数	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1年未満								2	2
1年以上 5年未満					3	6	3	21	33
5年以上 10年未満				8	7	4	9	16	44
10年以上 15年未満			1	6	5	4	2	25	43
15年以上 20年未満			1	5	4	4	3	23	40
20年以上 25年未満			2		1	1	3	29	36
25年以上 30年未満			1	1	1	2		11	16
30年以上 35年未満		1	1				1	6	9
35年以上	1	2		1					4
合計	1	3	6	21	21	21	21	133	227

消防団員の年報酬及び出動手当

(令和3年4月1日現在) 単位：円

階級	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬	120,000	88,800	78,000	66,000	48,000	37,000	37,000	36,500
手当			火災の場合	1回につき		7,000円		
			水災の場合	1回につき		7,000円		
			警戒の場合	1回につき		7,000円		
			訓練の場合	1回につき		7,000円		

ただし、1回の出動時間が4時間に満たない場合は、3,500円

消防団車両及び施設等の現況

(令和3年12月31日現在)

方 面	区分 分団名	車 名	年 式	ポン プ 形 式	ポン プ 製 作 所	購 入 年 月	種 別	設 火 の 置 見 ・ 年 乾 燥 月 塔	設 器 置 具 年 置 月 場
第一方面隊	第1分団	日野	H22	MD260A	森田ポンプKK	H22. 11	消防ポンプ自動車	乾 S56. 10	S63. 11
	第2分団	日産	H27	Fi6000	KKマキタ沼津	H27. 2	小型動力ポンプ積載車	—	S56. 12
	第3分団	日野	H27	MEI	森田ポンプKK	H28. 2	消防ポンプ自動車	乾 H 5. 6	S59. 12
	第4分団	日産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H 9. 3	H9. 3
第二方面隊	第5分団	日産	H24	Fi6000	KKマキタ沼津	H24. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H15. 11	S56. 12
	第6分団	日産	H21	Fi6000	KKマキタ沼津	H21. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 S54. 5	H5. 12
	第7分団	日産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25. 2	小型動力ポンプ積載車	—	S56. 12
第三方面隊	第8分団	日産	H29	FF400AS	IHIシバウラ	H29. 1	小型動力ポンプ積載車	乾 H16. 10	S61. 6
	第9分団	日産	H20	P455DAN	KKマキタ沼津	H20. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 R 2. 2	R2. 2
	第10分団	日産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H 3. 6	S57. 11
第四方面隊	第11分団	日産	H20	Fi6000	KKマキタ沼津	H20. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H12. 9	H31. 3
	第12分団	日産	H24	Fi6000	KKマキタ沼津	H24. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H13. 12	H3. 3
	第13分団	日産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22. 2	小型動力ポンプ積載車	—	S55. 3
第五方面隊	第14分団	日産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H11. 6	S55. 11
	第15分団	日野	H17	ME-5	森田ポンプKK	H17. 10	消防ポンプ自動車	乾 H 3. 2	S62. 2
	第16分団	日産	H27	Fi6000	KKマキタ沼津	H27. 2	小型動力ポンプ積載車	火 S30. 3	S58. 8
	第17分団	日産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H18. 10	S57. 12
第六方面隊	第18分団	日産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H 4. 10	S56. 12
	第19分団	日産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25. 2	小型動力ポンプ積載車	—	S58. 3
	第20分団	日産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22. 2	小型動力ポンプ積載車	乾 H 1. 12	H2. 3
	第21分団	日野	H15	ME-5	森田ポンプKK	H15. 10	消防ポンプ自動車	乾 H14. 12	H27. 6

消防水利の現況

(令和3年4月1日現在) 単位：基

区 分		西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	合 計
消 火 栓		4 3 4	3 2 2	2 6 3	3 0 4	1, 3 2 3
防 火 水 槽 ・ プ ール 等	20m ³ 未満	1 1	1 5	9	3 0	6 5
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	3 0	2 4	1 9	2 8	1 0 1
	40m ³ 以上	1 1 3	8 8	5 6	3 4	2 9 1
	プール・池	7	6	4	5	2 2
	小 計	1 6 1	1 3 3	8 8	9 7	4 7 9
合 計		5 9 5	4 5 5	3 5 1	4 0 1	1, 8 0 2

※私設消火栓及び私設貯水槽の数も含む。

消防ホース配置状況

(令和3年12月31日現在) 単位：本

署 区 分		西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	合 計
口 径	4 0 m m	1 2	1 7	1 9	1 1	5 9
	5 0 m m	8 0	3 2	4 1	3 6	1 8 9
	6 5 m m	1 0 3	4 9	8 5	6 0	2 9 7
合 計		1 9 5	9 8	1 4 5	1 0 7	5 4 5

消防署緊急車両使用状況

(令和3年12月31日現在)

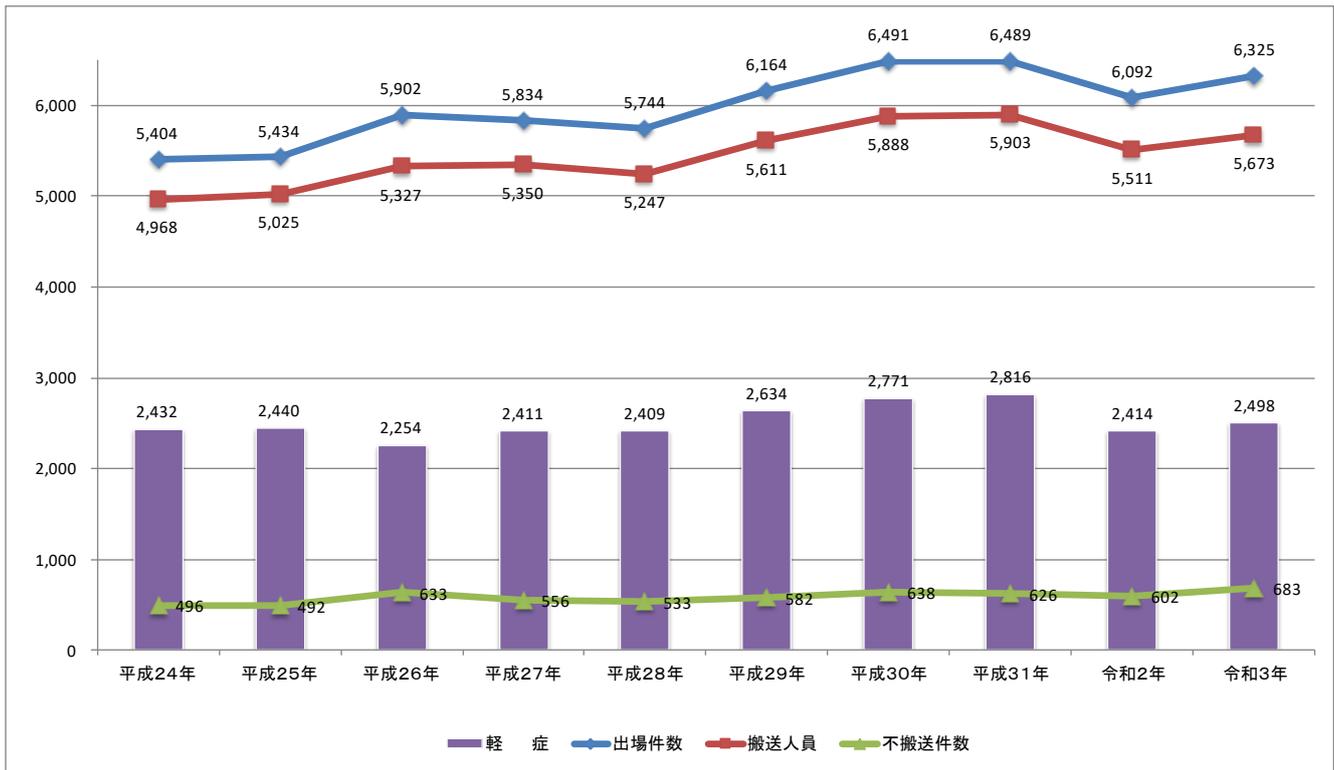
車名	登 録 日 年 月 日	経 過		配車からの 走行距離 (km)	配車からの 出場総件数 (件)	令 和 3 年 中 の 走 行 距 離 (km)	令 和 3 年 中 の 出 場 ・ 出 向 総 件 数 (件)	令 和 3 年 中 の 火 災 出 場 件 数 (件)	令 和 3 年 中 の P T O 使 用 時 分
		年	月						
我孫子指揮1号車	H22.10.19	11	2	50,644	3,097	3,672	239	17	
新西署水槽1号車	R3.2.15	0	10	5,153	484	3,513	484	13(2)	48時間35分
西署化学1号車	H25.2.18	8	10	28,692	2,413	3,301	284	11	10時間00分
西署救助1号車	H24.1.20	9	11	37,179	3,133	3,693	327	14	17時間40分
西署梯子1号車	H31.3.8	2	9	5,004	234	699	51	5	31時間00分
西署資材1号車	H18.6.22	15	6	16,188	992	772	21	0	
西署資材2号車	H23.9.30	10	3	10,032	325	95	9	0	
つくし野水槽1号車	H23.2.15	10	10	43,408	5,433	3,766	608(5)	15(2)	17時間20分
つくし野水槽2号車	H13.2.7	20	10	36,521	3,754	749	100	8	16時間45分
東署水槽1号車	H30.2.8	3	10	18,250	2,063	4,699	500	11(1)	21時間20分
東署水槽2号車	H17.12.14	16	0	47,746	6,977	403	33	2(1)	9時間30分
湖北水槽1号車※1	H15.12.8	18	0	79,881	9,237	4,886	559	14	16時間20分
新湖北水槽1号車	R3.11.19	0	1	1,959	61	479	61	4	3時間50分
西署救急1号車	H26.2.12	7	10	132,337	11,369	16,826	1,351	2	
西署救急2号車	H28.2.2	5	10	92,987	7,692	16,171	1,368	6	
つくし野救急1号車	H30.12.27	3	0	50,621	4,363	16,345	1,420	3	
東署救急1号車	R2.12.17	1	0	20,217	1,033	20,217	1,033	0	
湖北救急1号車	H29.1.24	4	11	102,980	6,841	20,439	1,339	3	
西署救急3号車 (ハイエース) ※2	H19.2.23	13	11	212,787	16,744	97	3		
西署救急3号車 (エルブランド) ※3	H24.2.24	9	10	172,043	8,602	2,788	124	1	
西署水槽1号車※4	H15.1.15	18	11	74,739	9,678	34	6	0	3時間00分
つくし野指令1号車	H30.10.30	3	2	7,038	587	2,389	184	0	
東指令1号車 (エクストレイル)	R1.11.13	2	1	5,598	252	2,749	121	0	
湖北指令1号車	H26.11.19	7	1	21,265	1,507	1,803	119	0	

() は管外への出場件数を示す。

- ※1 湖北水槽1号車は令和3年11月30日(火)運用停止。
- ※2 西署救急3号車(ハイエース)は令和3年1月7日(日)に運用停止。
- ※3 西署救急3号車(エルブランド)は令和3年1月8日(月)より運用開始。
- ※4 西署水槽1号車は令和3年1月8日(金)に運用停止。

年別救急出場状況

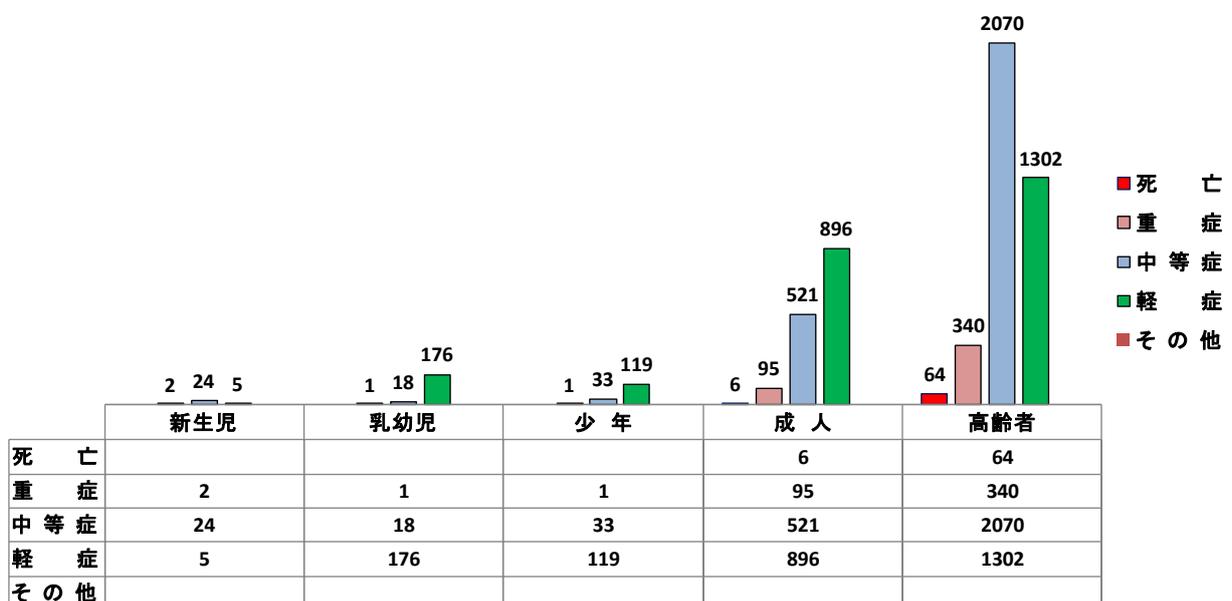
(令和3年12月31日現在)



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
出場件数	5,404	5,434	5,902	5,834	5,744	6,164	6,491	6,489	6,092	6,325
搬送人員	4,968	5,025	5,327	5,350	5,247	5,611	5,888	5,903	5,511	5,673
軽症	2,432	2,440	2,254	2,411	2,409	2,634	2,771	2,816	2,414	2,498
不搬送件数	496	492	633	556	533	582	638	626	602	683

年齢区分別傷病程度別搬送人員状況

(令和3年12月31日現在)

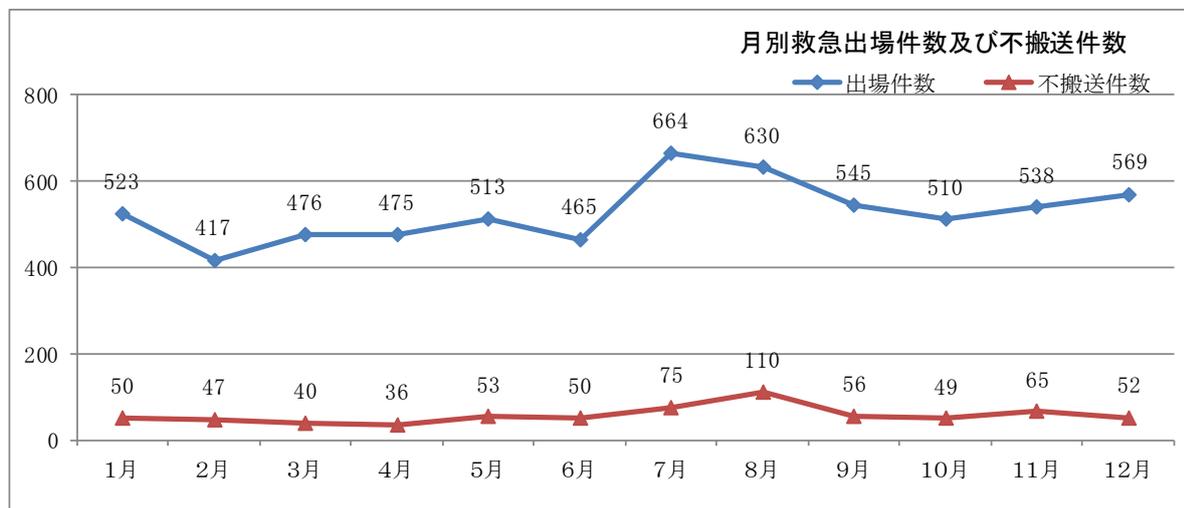


月別救急出場件数及び搬送人員状況

(令和3年12月31日現在)

月別	種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
1	出場件数	3			15	2	2	79	1	6	364	51	523
	搬送人員	2			16	2	2	7	2	3	36	2	50
2	出場件数	2			23		1	70		3	271	47	417
	搬送人員	2			24		1	9		2	27	7	47
3	出場件数	1			25		3	73	2	8	308	56	476
	搬送人員	1			2		3	6	1	3	18	10	40
4	出場件数	1			19	1	5	70	5	2	325	47	475
	搬送人員	1			2		5	3			27	3	36
5	出場件数	1			20	1	3	90	2	7	335	54	513
	搬送人員	1			3		3	3	1	5	27	13	53
6	出場件数	3			19	3	2	78	3	2	314	41	465
	搬送人員	3			1	3	2	8	1	1	29	7	50
7	出場件数	2			17	3	6	105	4	7	454	66	664
	搬送人員	2			2		6	10	1	3	43	14	75
8	出場件数	3		1	24	4	2	85	1	7	398	105	630
	搬送人員	3		1	4		2	10		4	35	53	110
9	出場件数	1			25	1	1	101	3	7	345	61	545
	搬送人員	1			1		1	6	2	2	34	10	56
10	出場件数	3			33		2	93	3	5	331	40	510
	搬送人員	1			3		2	4			35	6	49
11	出場件数	2			41	3	2	85	3	10	337	55	538
	搬送人員	2			6		2	8	2	5	29	13	65
12	出場件数	3		1	36	4	2	108	1	3	361	50	569
	搬送人員	2		1	4		2	7	1		29	8	52
計	出場件数	25		2	297	22	31	1,037	28	67	4,143	673	6,325
	搬送人員	20		2	28		31	81	9	28	369	146	683
		6			294	22	31	958	20	39	3,776	527	5,673

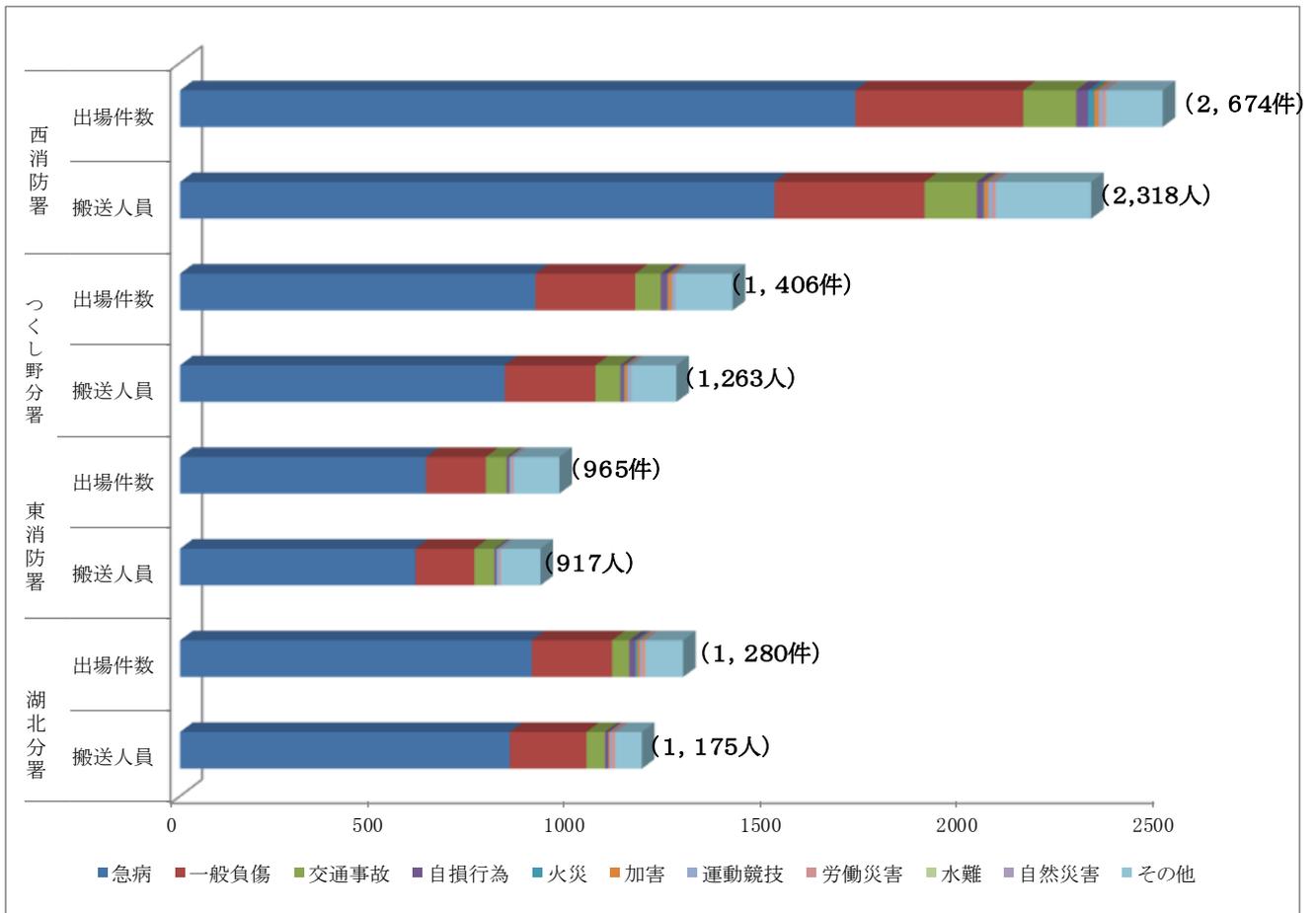
※各月出場件数中の下段は不搬送件数



署別救急出場件数及び搬送人員状況

(令和3年12月31日現在)

種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
西消防署	出場件数	16		1	135	8	11	427	11	30	1,718	317	2,674
	搬送人員	3			133	8	11	382	10	16	1,512	243	2,318
つくし野分署	出場件数	2			65	1	9	254	10	16	904	145	1,406
	搬送人員	2			63	1	9	231	7	9	826	115	1,263
東消防署	出場件数	1			53	4	6	152	1	6	626	116	965
	搬送人員	1			51	4	6	150		5	599	101	917
湖北分署	出場件数	6		1	44	9	5	204	6	15	895	95	1,280
	搬送人員				47	9	5	195	3	9	839	68	1,175
合計	出場件数	25	0	2	297	22	31	1,037	28	67	4,143	673	6,325
	搬送人員	6	0	0	294	22	31	958	20	39	3,776	527	5,673



救急隊員が行った応急処置件数

(令和3年12月31日現在)

事故種別 応急処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
対象人員	3,773	293	957	629	5,652
止血	15	13	96	13	137
固定	7	87	55	17	166
人工呼吸	9	0	1	0	10
心肺蘇生	114	1	4	4	123
酸素吸入	734	23	24	187	968
気道確保 (特定行為を除く)	133	1	7	4	145
保温	251	16	46	34	347
被覆	17	68	241	13	339
在宅療法継続	47	0	1	3	51
除細動	11	0	0	1	12
血圧測定	3,576	286	916	598	5,376
心音等の聴取	912	46	50	69	1,077
血中酸素飽和度	3,648	290	947	624	5,509
心電図測定	2,072	45	163	240	2,520
救命士特定行為 (気道確保・静脈路確保・薬剤投与)	112	1	3	4	120
計	11,658	877	2,554	1,811	16,900

事故種別年齢区分別搬送人員状況

(令和3年12月31日現在)

種別 年齢区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児										3	28	31
乳幼児				10		1	55			124	5	195
少年				28	1	14	25	1		82	2	153
成人	3			169	17	14	159	15	35	968	138	1,518
高齢者	3			87	4	2	719	4	4	2,599	354	3,776
計	6			294	22	31	958	20	39	3,776	527	5,673

事故種別傷病程度別搬送人員状況

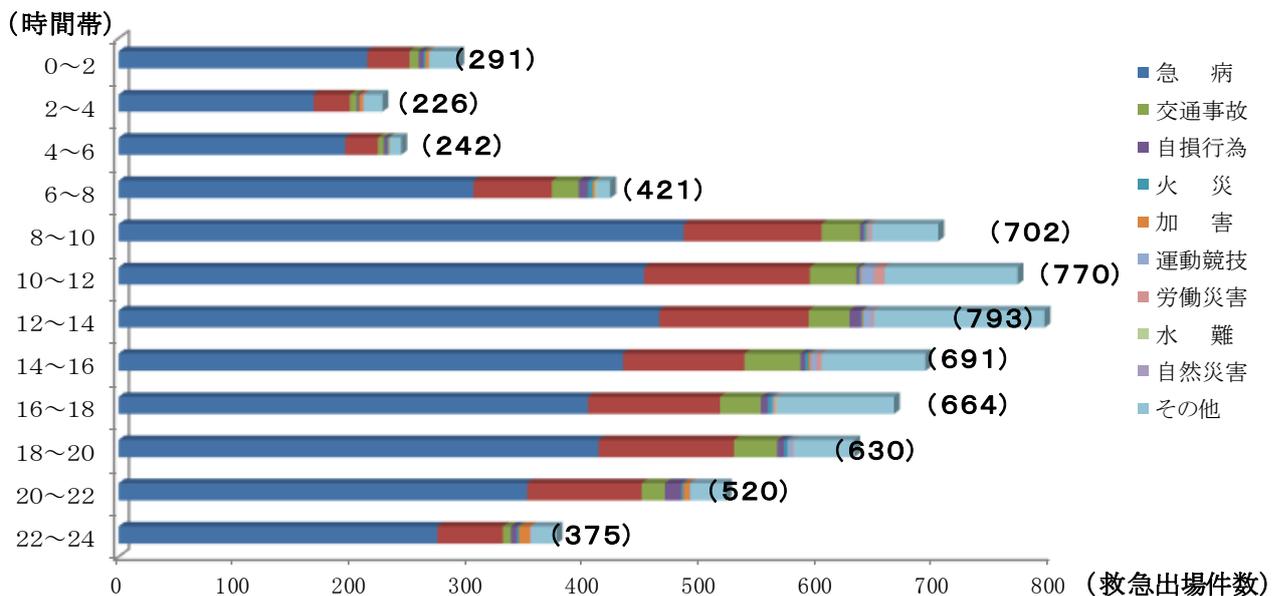
(令和3年12月31日現在)

種別 傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡							3		2	65		70
重症				9	1	1	43		7	252	126	439
中等症	4			47	5	9	293	2	16	1,934	356	2,666
軽症	2			238	16	21	619	18	14	1,525	45	2,498
その他												
計	6	0	0	294	22	31	958	20	39	3,776	527	5,673

時間別救急出場件数及び搬送人員状況

(令和3年12月31日現在)

時間別	種別	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	その	計
		災	災	難	事	災	競	負	害	損	病	他	
0～2	出場件数	2			8			36	3	4	213	25	291
	搬送人員				9			30	2	3	186	9	239
2～4	出場件数				6	1		31	3	2	167	16	226
	搬送人員				5	1		24	1	2	147	8	188
4～6	出場件数	1			5			28	1	3	194	10	242
	搬送人員				6			25	1	2	182	4	220
6～8	出場件数	4		1	23			67	2	8	304	12	421
	搬送人員	2			20			64	1	4	285	5	381
8～10	出場件数	2			33	2	2	118	1	3	484	57	702
	搬送人員	1			31	2	2	117	1		457	43	654
10～12	出場件数	1			40	9	11	142	1	2	450	114	770
	搬送人員				38	9	11	136			411	101	706
12～14	出場件数	1			35	2	7	128	1	10	463	146	793
	搬送人員				36	2	7	117	1	6	428	131	728
14～16	出場件数	3			48	4	5	104	2	4	432	89	691
	搬送人員				49	4	5	94	1	3	392	76	624
16～18	出場件数	4		1	35	2	1	113		6	402	100	664
	搬送人員				34	2	1	104		2	362	87	592
18～20	出場件数	3			37	1	4	116		6	411	52	630
	搬送人員	1			40	1	4	108		4	372	29	559
20～22	出場件数	2			20		1	98	5	14	350	30	520
	搬送人員				19		1	87	4	8	316	19	454
22～24	出場件数	2			7	1		56	9	5	273	22	375
	搬送人員	2			7	1		52	8	5	238	15	328
計	出場件数	25	0	2	297	22	31	1,037	28	67	4,143	673	6,325
	搬送人員	6	0	0	294	22	31	958	20	39	3,776	527	5,673



救急業務累年比較表

(令和3年12月31日現在)

区 分 年 別	出場件数	増減率	搬送件数	増減率	搬送人員	増減率
昭和49年	1,065	6.1%	995	4.2%	1,060	1.4%
50年	1,162	9.1%	1,086	9.1%	1,149	8.4%
51年	1,206	3.8%	1,132	4.2%	1,215	5.7%
52年	1,272	5.5%	1,185	4.7%	1,249	2.8%
53年	1,450	14.0%	1,361	14.9%	1,349	8.0%
54年	1,491	2.8%	1,387	1.9%	1,349	0.0%
55年	1,630	9.3%	1,548	11.6%	1,528	13.3%
56年	1,635	0.3%	1,561	0.8%	1,539	0.7%
57年	1,608	-1.7%	1,518	-2.8%	1,502	-2.4%
58年	1,620	0.7%	1,547	1.9%	1,552	3.3%
59年	1,561	-3.6%	1,468	-5.1%	1,552	0.0%
60年	1,645	5.4%	1,554	5.9%	1,641	5.7%
61年	1,647	0.1%	1,552	-0.1%	1,623	-1.1%
62年	1,738	5.5%	1,654	6.6%	1,743	7.4%
63年	1,801	3.6%	1,682	1.7%	1,796	3.0%
平成元年	1,933	7.3%	1,829	8.7%	1,936	7.8%
2年	1,975	2.2%	1,857	1.5%	1,966	1.5%
3年	2,031	2.8%	1,915	3.1%	2,049	4.2%
4年	2,143	5.5%	2,020	5.5%	2,183	6.5%
5年	2,089	-2.5%	1,993	-1.3%	2,117	-3.0%
6年	2,209	5.7%	2,075	4.1%	2,217	4.7%
7年	2,486	12.5%	2,331	12.3%	2,446	10.3%
8年	2,505	0.8%	2,366	1.5%	2,468	0.9%
9年	2,583	3.1%	2,405	1.6%	2,510	1.7%
10年	2,773	7.4%	2,602	8.2%	2,680	6.8%
11年	3,142	13.3%	2,914	12.0%	3,031	13.1%
12年	3,404	8.3%	3,189	9.4%	3,335	10.0%
13年	3,462	1.7%	3,181	-0.3%	3,286	-1.5%
14年	4,031	16.4%	3,717	16.9%	3,857	17.4%
15年	4,268	5.9%	3,873	4.2%	4,003	3.8%
16年	4,250	-0.4%	3,878	0.1%	3,979	-0.6%
17年	4,674	10.0%	4,210	8.6%	4,284	7.7%
18年	4,656	-0.4%	4,236	0.6%	4,308	0.6%
19年	4,706	1.1%	4,265	0.7%	4,306	0.0%
20年	4,561	-3.1%	4,113	-3.6%	4,154	-3.5%
21年	4,622	1.3%	4,187	1.8%	4,242	2.1%
22年	4,770	3.2%	4,335	3.5%	4,390	3.5%
23年	5,153	8.0%	4,661	7.5%	4,718	7.5%
24年	5,404	4.9%	4,908	5.3%	4,968	5.3%
25年	5,434	0.6%	4,942	0.7%	5,025	1.1%
26年	5,902	8.6%	5,269	6.6%	5,327	6.0%
27年	5,834	-1.2%	5,278	0.2%	5,350	0.4%
28年	5,744	-1.5%	5,211	-1.3%	5,247	-1.9%
29年	6,164	7.3%	5,582	7.1%	5,611	6.9%
30年	6,491	5.3%	5,853	4.9%	5,888	4.9%
31年	6,489	0.0%	5,863	0.2%	5,903	0.3%
令和2年	6,092	-6.1%	5,490	-6.4%	5,511	-6.6%
令和3年	6,325	3.8%	5,642	2.8%	5,673	2.9%

我孫子市内公共施設 A E D 設置場所

(令和3年12月31日現在)

地区		施設名	設置台数
我孫子地区	1	我孫子市役所 本庁	2
	2	我孫子市役所 議会棟	1
	3	我孫子市役所 東別館	1
	4	我孫子市役所 西別館	1
	5	生涯学習センター「アビスタ」	1
	6	けやきプラザ	3
	7	我孫子南近隣センター(けやきプラザ内)	1
	8	西消防署	1
	9	あびこ市民プラザ	1
	10	西部福祉センター	1
	11	根戸小学校	1
	12	我孫子第一小学校	1
	13	我孫子第四小学校	1
	14	我孫子第四小学童保育室	1
	15	久寺家中学校	2
	16	白山中学校	1
	17	水道局	1
	18	我孫子北近隣センター(並木本館)	1
	19	我孫子北近隣センター(つくし野分館)	1
	20	根戸近隣センター	1
	21	久寺家近隣センター	1
	22	並木小学校	1
	23	寿保育園	1
	24	つくし野保育園	1
	25	つくし野多目的広場	1
	26	白樺文学館	1
	27	杉村楚人冠記念館	1
	28	アビシルベ	1
	29	根戸福祉センター	1
	30	我孫子高等技術専門学校	1
	31	県立我孫子高等学校	3
	32	にこにこ広場	1
天王台地区	33	我孫子中学校	2
	34	我孫子第三小学校	1
	35	我孫子第三小学童保育室	1
	36	我孫子第二小学校	1
	37	我孫子第二小学童保育室	1
	38	高野山小学校	1
	39	高野山小学童保育室	1
	40	近隣センターこもれび	1
	41	天王台北近隣センター	1

地区		施設名	設置台数
天王台地区	42	天王台行政サービスセンター	1
	43	我孫子警察署	1
	44	移動交番所(我孫子警察署)	1
	45	手賀沼親水広場 水の館	1
	46	鳥の博物館	1
	湖北地区	47	湖北地区公民館
48		老人福祉センターつつじ荘	1
49		市民体育館	3
50		湖北中学校	1
51		保健センター	1
52		市民図書館湖北台分館	1
53		湖北小学校	1
54		湖北台西小学校	1
55		湖北台中学校	1
56		湖北台東小学校	1
57		湖北台近隣センター	1
58		湖北台保育園	1
59		クリーンセンター	1
60		休日診療所	1
61		湖北行政サービスセンター	1
62	湖北特別支援学校	1	
63	我孫子高校野球場	1	
新木地区	64	新木近隣センター	1
	65	新木小学校	1
	66	新木小学童保育室	1
	67	我孫子市あらかき園	1
	68	我孫子市こども発達センター	1
	69	障害者福祉センター	1
	70	新木行政サービスセンター	1
	71	県立我孫子特別支援学校	1
布佐地区	72	市民図書館布佐分館	1
	73	布佐中学校	1
	74	東消防署	1
	75	布佐南小学校	1
	76	布佐小学校	1
	77	近隣センターふさの風	1
	78	布佐南近隣センター	1
	79	布佐行政サービスセンター	1
	80	県立我孫子東高等学校	2
	81	手賀沼終末処理場	3

配備数：81施設 93台

我孫子市内ドクターヘリランデブーポイント

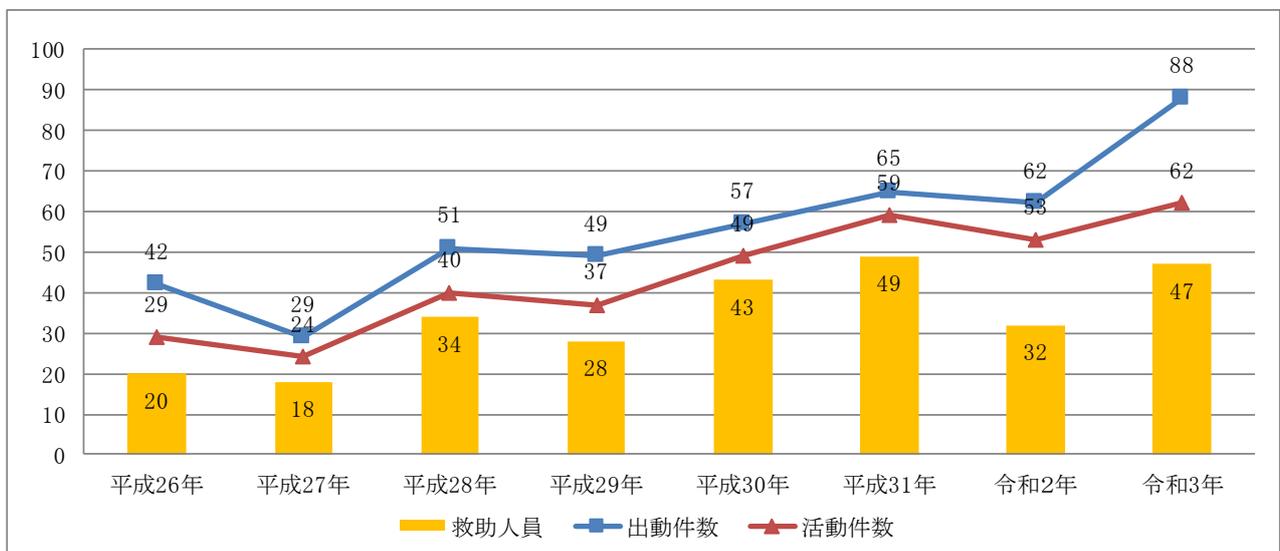
小学校	1	根戸小学校
	2	我孫子第三小学校
	3	我孫子第一小学校
	4	高野山小学校
	5	湖北台西小学校
	6	湖北台東小学校
	7	湖北小学校
	8	新木小学校
	9	布佐南小学校

中学校	10	久寺家中学校
	11	我孫子中学校
	12	湖北台中学校
公園	13	手賀沼公園
	14	湖北台中央公園
	15	利根川ゆうゆう公園
	16	布佐南公園
	17	五本松運動広場

年別救助出動状況

(令和3年12月31日現在)

年別区分	事故種別	火	交	水	自	風	機	建	ガ	破	そ	計
		災	通	難	然	水	械	物	ス	裂	の	
		災	事	事	災	害	による	等による	及び	事	他の	
		災	故	故	害	事	事故	事故	酸	故	事故	
		災	故	故	害	事	事故	欠	事	故	事故	
平成26年	出動件数	2	20	7			1	6			6	42
	活動件数	2	10	7				5			5	29
	救助人員		8	2				6			4	20
平成27年	出動件数	2	10	8				5			4	29
	活動件数	2	6	8				4			4	24
	救助人員	1	6	4				4			3	18
平成28年	出動件数	3	8	2				22	1		15	51
	活動件数	3	3					21	1		12	40
	救助人員	3	2					21	1		7	34
平成29年	出動件数	4	13	2			2	17			11	49
	活動件数	4	6				2	16			9	37
	救助人員		6				6	12			4	28
平成30年	出動件数	3	9	3				31			11	57
	活動件数	3	5	2				30			9	49
	救助人員	1	6	2				29			5	43
平成31年	出動件数	4	10	4			1	35			11	65
	活動件数	4	7	4			1	35			8	59
	救助人員	8	8	2			2	26			3	49
令和2年	出動件数		6	3				30			23	62
	活動件数		6	2				29			16	53
	救助人員		6	1				19			6	32
令和3年	出動件数	4	8	3			2	48	2		21	88
	活動件数	4	7	2			2	41			6	62
	救助人員		7	1			2	31			6	47



月別曜日別 救助出動状況

(令和3年12月31日現在)

事故種別 月・曜日別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 風 然 水 災 災 害 害 事 事 故 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
1						3			1	4
2	1					6	1		1	9
3						5			1	6
4		1				4				5
5						5	1		1	7
6	3	2				3			2	10
7						6			4	10
8			2			6			7	15
9		1			1	3			1	6
10		3							3	6
11					1	1				2
12		1	1			6				8
計	4	8	3		2	48	2		21	88
月曜日	1	1	2			6			3	13
火曜日		1	1			4	1			7
水曜日	1					9			3	13
木曜日					1	4			4	9
金曜日	1	3			1	12	1		7	25
土曜日	1	2				6			1	10
日曜日		1				7			3	11

時間別・救助出動状況

(令和3年12月31日現在)

事故種別 時間別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故 等	風 水 害 事 故 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
0～1						2				1	3
1～2											
2～3											
3～4											
4～5	1										1
5～6											
6～7						3				1	4
7～8		1	1							1	3
8～9		1	1			2				2	6
9～10	1					3					4
10～11						5				3	8
11～12		1				1	3			2	7
12～13						3				2	5
13～14	1					2				1	4
14～15											
15～16						3				1	4
16～17						7	1			2	10
17～18			1		1	5					7
18～19						6	1			2	9
19～20		3									3
20～21		1				1				2	4
21～22	1										1
22～23						3				1	4
23～24		1									1
計	4	8	3			2	48	2		21	88

事故種別・発生場所別 出動件数

(令和3年12月31日現在)

事故種別 発生場所		火	交	水	自	風	機	建	ガ	破	そ	計	
		災	通	難	然	水	械	物	ス	裂	の		
		炎	事	事	災	害	に	等	及	事	他		
		故	故	故	害	害	よ	による	欠	故	の		
					事	事	る	による	事	故	事		
					故	等	事	事故	故		故		
屋内	住居	4						47	1		12	64	
	その他の屋内						1				1	2	
屋外	道	高速道路											
		その他の道路		6							1	7	
	水	内水面		1	3								4
		外水面											
	山岳												
	その他の屋外		1					1			5	7	
地下													
その他							1		1		2	4	
計		4	8	3			2	48	2		21	88	

事故種別・発生場所別 救助人員数

(令和3年12月31日現在)

事故種別 発生場所		火	交	水	自	風	機	建	ガ	破	そ	計	
		災	通	難	然	水	械	物	ス	裂	の		
		炎	事	事	災	害	に	等	及	事	他		
		故	故	故	害	害	よ	による	欠	故	の		
					事	事	る	による	事	故	事		
					故	等	事	事故	故		故		
屋内	住居							30				30	
	その他の屋内						1					1	
屋外	道	高速道路											
		その他の道路		6									6
	水	内水面			1								1
		外水面											
	山岳												
	その他の屋外		1					1			4	6	
地下													
その他							1				2	3	
計			7	1			2	31			6	47	

救助機械器具等保有状況

(令和3年12月31日現在)

分類	一般救助用器具							重量物排除用器具					切断用器具										
	別表1							別表1			別表2		別表1			別表2							
名称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	サバイバースリング	平担架	油圧ジャッキ	油圧スプレッダー	可搬ウインチ	マンホール救助器具	マット型空気ジャッキ	大型油圧スプレッダー	救助用支柱器具※	油圧切断機	エンジンカッター	ガス溶断器	チェーンソー	鉄線カッター	空気鋸	大型油圧切断機	空気切断機	鉄筋切断機※
全体保有数	8	8	1	1	1	1	1	3	2	1	1	1	3	1	9	1	9	6	1	2	1	1	
救助保有数	3	2	1	1	1	1	1	3	2	1	1	1	3	1	2	1	2	3	1	2	1	1	

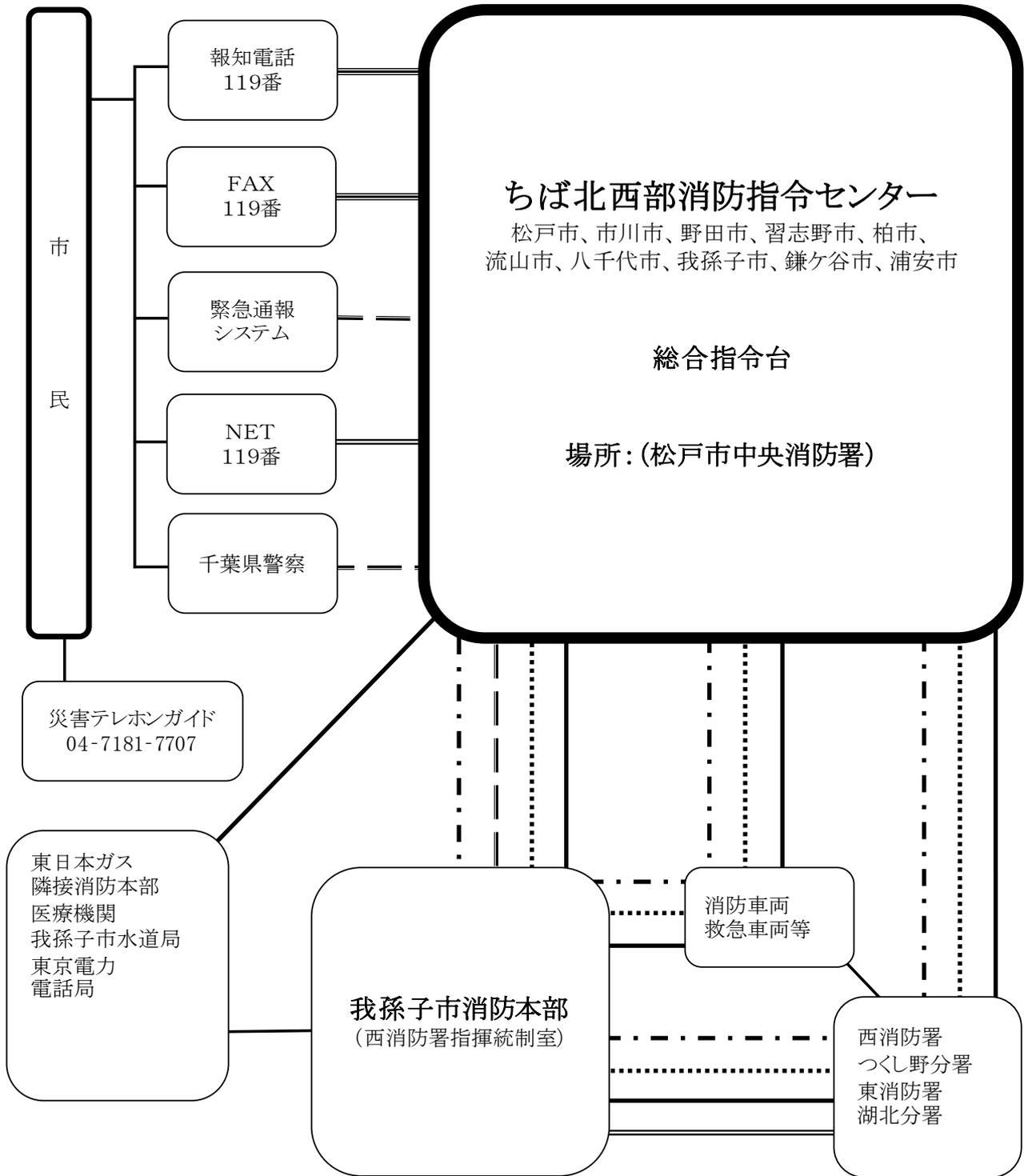
分類	破壊用器具		検知・測定用器具					呼吸保護用器具		隊員保護用器具													
	別表1		別表2		別表1					別表1	別表2	別表1						別表2					
名称	万能斧	ハンマー	削岩機	ハンマドリル	可燃性ガス測定器※※	有毒ガス測定器※※	酸素濃度測定器※※	放射線測定器※※	空気呼吸器	防塵マスク	耐電手袋	安全帯	防塵メガネ	携帯警報器	防毒マスク	化学防護服※	陽圧式化学防護服※	耐熱服※	放射線防護服※	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	特殊ヘルメット※
全体保有数	14	8	2	1	8	8	8	5	34	45	12	5	120	10	3	44	5	3	5	12	12	10	5
救助保有数	6	2	2	1	3	3	3	5	10	26	5	5	26	6	3	15	5	3	5	5	5	5	5

分類	検索用器具		除染用器具		水難救助用器具				山岳救助用器具		その他の救助用器具						高度救助用器具					
	別表1		別表1		別表1				別表1		別表1				別表2		別表3					
名称	簡易画像探索機※	除染シヤワー※	除染剤散布器※	救命胴衣	救命浮環	救命ボート	船外機	バスケット担架※	登山器具一式※※	送排風機	投光器一式	携帯投光器	携帯拡声器	携帯無線機	応急処置用セット	車両移動器具※	緩降機	救助用降下機	発電機	画像探索機※	熱画像直視装置※	夜間用暗視装置※
全体保有数	1	2	2	25	4	7	2	2	1	4	9	30	15	34	6	4	1	1	15	2	3	1
救助保有数	1	2	2	12	3	2	2	2	1	3	3	11	7	3	2	1	1	4	2	1	1	

※印のものは、地域の実情に応じて備えるもの。
 ※※印のものは、資機材の実数ではなく実務数とする。
 ※※※印のものは、都市型ロープレスキュー一式を保有。 46

消防通信系統図

(令和3年4月1日現在)



凡例	
	119番回線
	専用回線
	指令伝送回線
	デジタル無線
	インターネット網
	一般加入回線

無線局配置状況（デジタル無線・署活動系無線）

（令和3年12月31日現在）

配置場所 装置種類	消防本部			西消防署		東消防署		計
	総務課	予防課	警防課	西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	
遠隔制御装置				1				1
卓上型半固定局				2	1	1	1	5
可搬型移動局			1	1				2
車載型移動局	1	1	1	10	3	4	2	22
携帯型移動局	1	1	4	12	5	6	5	34
署活動用無線機			12	19	6	8	6	51
計	2	2	18	45	15	19	14	115

無線局一覧表（デジタル無線）

（令和3年12月31日現在）

免許人名 我孫子市 無線局の目的 消防用 基地局 1装置 陸上移動局 63装置

区分	基地局	呼出名称	えんせいあびこしょうぼう	無線機種別	遠隔制御装置	配置	西消防署
区分	陸上移動						
消防本部	半固定型 0		可搬型 1	車載型 3	携帯型 6		
呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置		
あびこほんぶ501	可搬型	本部					
あびこしれい1	車載型	指令1号車	あびこしえん1	車載型	マイクロバス		
あびこしれい2	車載型	指令2号車					
あびこほんぶ101	携帯型	本部	あびこほんぶ104	携帯型	本部		
あびこほんぶ102	携帯型	本部	あびこほんぶ105	携帯型	本部		
あびこほんぶ103	携帯型	本部	あびこほんぶ106	携帯型	本部		
西消防署	半固定型 2		可搬型 1	車載型 10	携帯型 12		
呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置		
あびこしれい501	半固定型	西消防署	あびこにし501	半固定型	西消防署		
あびこしき501	可搬型	指揮隊					
あびこしき1	車載型	指揮車	あびこにしきゆうきゆう1	車載型	救急1号車		
あびこにしすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこにしきゆうきゆう2	車載型	救急2号車		
あびこにしかがく1	車載型	化学1号車	あびこにしきゆうきゆう3	車載型	救急3号車		
あびこにしきゆうじょ1	車載型	救助1号車	あびこしざい1	車載型	資材1号車		
あびこにしはしご1	車載型	梯子1号車	あびこしざい2	車載型	資材2号車		
あびこしき101	携帯型	指揮隊	あびこにしすいそう101	携帯型	警防隊		
あびこしき102	携帯型	指揮隊	あびこにしかがく101	携帯型	特別救助隊		
あびこにし101	携帯型	西消防署	あびこにしきゆうじょ101	携帯型	特別救助隊		
あびこにし102	携帯型	西消防署	あびこにしはしご101	携帯型	特別救助隊		
あびこにし103	携帯型	西消防署	あびこにしきゆうきゆう10	携帯型	救急隊		
あびこにし104	携帯型	西消防署	あびこにしきゆうきゆう20	携帯型	救急隊		
つくし野分署	半固定型 1		可搬型 0	車載型 3	携帯型 5		
呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置		
あびこつくしの501	半固定型	つくし野分署					
あびこつくしのすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこつくしのきゆうきゆう1	車載型	救急1号車		
あびこつくしのすいそう2	車載型	水槽2号車					
あびこつくしの101	携帯型	つくし野分署	あびこつくしのすいそう101	携帯型	警防隊		
あびこつくしの102	携帯型	つくし野分署	あびこつくしのきゆうきゆう101	携帯型	救急隊		
あびこつくしの103	携帯型	つくし野分署					
東消防署	半固定型 1		可搬型 0	車載型 4	携帯型 6		
呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置		
あびこひがし501	半固定型	東消防署					
あびこひがしすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこひがしきゆうきゆう1	車載型	救急1号車		
あびこひがしすいそう2	車載型	水槽2号車	あびこひがししれい1	車載型	指令1号車		
あびこひがし101	携帯型	東消防署	あびこひがしすいそう101	携帯型	警防隊		
あびこひがし102	携帯型	東消防署	あびこひがしすいそう102	携帯型	警防隊		
あびこひがし103	携帯型	東消防署	あびこひがしきゆうきゆう101	携帯型	救急隊		
湖北分署	半固定型 1		可搬型 0	車載型 2	携帯型 5		
呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置		
あびここほく501	半固定型	湖北分署					
あびここほくすいそう1	車載型	水槽1号車	あびここほくきゆうきゆう1	車載型	救急1号車		
あびここほく101	携帯型	湖北分署	あびここほくすいそう101	携帯型	警防隊		
あびここほく102	携帯型	湖北分署	あびここほくきゆうきゆう101	携帯型	救急隊		
あびここほく103	携帯型	湖北分署					

無線局一覧表（署活動系無線）

（令和3年12月31日現在）

区分	陸上移動局	無線機種別	署活動用 51	
消防本部		署活動用 12		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびこほんぶ11	警防課	あびこけいぼう11	警防課	
あびこほんぶ12	警防課	あびこけいぼう12	警防課	
あびこほんぶ13	警防課	あびこけいぼう13	警防課	
あびこほんぶ14	警防課	あびこけいぼう14	警防課	
あびこほんぶ15	警防課	あびこけいぼう15	警防課	
		あびこけいぼう16	警防課	
		あびこけいぼう17	警防課	
西消防署		署活動用 19		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびこしき11	指揮隊	あびこきゅうじょ11	特別救助隊	
あびこしき12	指揮隊	あびこきゅうじょ12	特別救助隊	
あびこしき13	指揮隊	あびこきゅうじょ13	特別救助隊	
あびこしき14	指揮隊	あびこきゅうじょ14	特別救助隊	
あびこしき15	指揮隊	あびこきゅうじょ15	特別救助隊	
あびこにし11	警防隊	あびこきゅうじょ16	特別救助隊	
あびこにし12	警防隊	あびこにしきゅうきゅう11	救急隊	
あびこにし13	警防隊	あびこにしきゅうきゅう12	救急隊	
あびこにし14	警防隊	あびこにしきゅうきゅう21	救急隊	
		あびこにしきゅうきゅう22	救急隊	
つくし野分署		署活動用 6		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびこつくしの11	警防隊	あびこつくしのきゅうきゅう11	救急隊	
あびこつくしの12	警防隊	あびこつくしのきゅうきゅう12	救急隊	
あびこつくしの13	警防隊			
あびこつくしの14	警防隊			
東消防署		署活動用 8		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびこひがし11	警防隊	あびこひがしきゅうきゅう11	救急隊	
あびこひがし12	警防隊	あびこひがしきゅうきゅう12	救急隊	
あびこひがし21	警防隊			
あびこひがし22	警防隊			
あびこひがし23	警防隊			
あびこひがし24	警防隊			
湖北分署		署活動用 6		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびここほく11	警防隊	あびここほくきゅうきゅう11	救急隊	
あびここほく12	警防隊	あびここほくきゅうきゅう12	救急隊	
あびここほく13	警防隊			
あびここほく14	警防隊			

月別区分別 1 1 9 番等受信回数

(令和3年12月31日現在)

区分 月別	火災	救急	(P A連携)	救助	危険排除	警戒	緊急確認	調査出向	その他	特殊災害	本部対応	合計
1	3	578	30	0	0	0	3	0	2	0	22	608
2	2	402	49	7	0	0	6	1	0	0	12	430
3	4	464	52	5	4	0	8	1	0	0	11	497
4	1	468	64	6	2	0	4	0	0	0	10	491
5	2	495	64	7	2	0	11	0	0	0	27	544
6	5	454	48	8	4	0	7	0	0	0	13	491
7	4	645	74	10	6	0	13	1	1	0	31	711
8	4	596	48	12	5	0	22	2	0	0	11	652
9	3	526	36	4	4	0	12	1	1	0	16	567
10	3	495	63	5	4	2	9	0	0	0	19	537
11	3	515	66	3	5	3	14	0	0	0	9	552
12	7	543	60	8	3	0	8	0	0	0	11	580
合計	41	6181	654	75	39	5	117	6	4	0	192	6660

※総合指令台での受信に限る

消防の沿革

- 昭和30年 4月 我孫子町・湖北村・布佐町が合併し我孫子町となる。新機構・新組織のもと本部役員を含め908名の消防団が誕生した。旧町村ごとに支団制を敷き3支団22ヶ分団で発足した。
- 昭和32年 4月 消防団機構改革により団長以下620名となった。
- 昭和35年 7月 機構改革により本部役員14名、分団各20名 総数454名となった。
- 昭和36年 9月 常備消防の設置について消防委員会の答申を得、同年12月に敷地（現在地 833㎡）の買収を決定した。
- 昭和37年10月 鈴木式鉄筋コンクリート望楼(33.5m)、一部鉄筋コンクリート木造モルタル2階建庁舎（275.5㎡）の竣工式を行った。
- 昭和37年11月 消防団常備部を設置、部長以下14名、水槽付消防ポンプ自動車1台を以て消防業務を開始した。
- 昭和38年 5月 常備部員を9名採用した。
- 昭和39年 1月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、常備部に配備した。
- 昭和40年 1月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第1分団に配備した。
- 昭和40年 4月 政令指定により消防本部及び署を設置した。また、職員を5名採用し、消防長以下28名の陣容となった。
- 昭和40年 4月 初代消防長に新保衡助氏就任。
- 昭和41年 1月 消防団機構改革により22ヶ分団となった。
- 昭和41年 7月 救急車を1台購入した。職員を5名採用し、8月1日より救急業務を開始した。
- 昭和42年 5月 職員を2名採用した。
- 昭和43年 4月 職員を11名採用した。
- 昭和43年 5月 職員を2名採用した。
- 昭和43年 6月 布佐出張所を開設した。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車を1台配備した。
- 昭和43年10月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、本署に配備した。
- 昭和44年 4月 職員を2名採用した。消防団機構改革により6方面隊22分団、団長以下279名となった。
- 昭和44年12月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第3分団に配備した。
- 昭和45年 4月 職員を12名採用した。
- 昭和45年 5月 湖北出張所を開設した。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車を1台配備した。
- 昭和45年 7月 市制施行に伴い我孫子市消防本部、消防署となった。
- 昭和45年11月 査察広報車を1台購入、本署に配備した。
- 昭和45年12月 日本自動車工業会より救急自動車が1台寄贈された。
- 昭和46年 1月 化学消防ポンプ自動車を1台購入し、本署に配備した。
- 昭和46年 4、5、6月 職員各1名を採用した。
- 昭和46年 6月 日本損害保険協会より消防車が1台寄贈された。
- 昭和46年11月 職員2名を採用した。
- 昭和47年 4月 湖北出張所開設に伴い職員を8名採用した。日産エコー救急車による救急業務を開始した。
- 昭和47年10月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第21分団に配備老朽更新を図った。
- 昭和47年12月 消防本部東側隣地(283.50㎡)を買収した。
- 昭和48年 4月 第2代消防長に橋本貫太郎氏就任。
- 昭和48年 4月 職員を3名採用した。
- 昭和48年11月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第15分団に配備し老朽更新を図った。
- 昭和49年 7月 職員を2名採用した。
- 昭和49年12月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、布佐出張所に配備した。
- 昭和49年12月 日本損害保険協会よりトヨタ2B型救急車が1台寄贈され、本署に配備し老朽更新を図った。
- 昭和50年 2月 第3代消防長に増田吉彌氏就任。
- 昭和50年 2月 30m級はしご自動車を1台購入し、本署に配備した。

昭和50年 7月 消防本部南側空地(1,653.18㎡)を買収決定した。

昭和51年 3月 指揮車を1台購入し、本署に配備した。

昭和51年 4月 職員を2名採用した。

昭和51年 6月 国道拡幅のため本部敷地(108.0㎡)を売却した。

昭和52年10月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新図った。

昭和53年 4月 第4代消防長に村上久氏就任。

昭和53年 4月 つくし野出張所開設に伴い、職員を5名採用した。

昭和53年 6月 消防本部庁舎建設のため南側市道(350.99㎡)を廃道し、本部が譲り受西側に付け替え道路(118.8㎡)を設置した。

昭和53年 7月 つくし野出張所開設。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車1台を以て業務を開始した。

昭和53年 8月 消防本部庁舎建設に伴い、隣地(346.51㎡)を買収した。

昭和53年11月 水槽付消防ポンプ自動車を2台購入し、本署、つくし野出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和53年12月 救急自動車(2B型)を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和54年 4月 職員を11名採用した。

昭和54年 9月 消防本部庁舎が完成し、9月30日落成式を行った。鉄筋コンクリート造4階建。(延べ床面積2,042㎡総工費3億2千万円)

昭和54年10月 緊急指令装置B型を設置し、専従通信員を置き通信業務を開始した。

昭和54年12月 国道356号線の拡幅のため43.56㎡を県に売却、小型動力ポンプ積載車2台購入し、第9分団、第11分団に配備した。

昭和55年 3月 救急自動車(2B型)を1台購入し、本署に配備した。

昭和55年 4月 職員を12名採用した。消防本部の機構改革により2課制とした。総務課(総務係・通信係)予防課(予防係・消防係)となった。

昭和55年 9月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し、第6分団、第13分団に配備した。

昭和56年 3月 日本損害保険協会より救急自動車(2B型)1台が寄贈され、布佐出張所に配備した。

昭和56年 4月 職員を4名採用した。

昭和56年 7月 消防本部の機構改革により、総務課総務係を総務課庶務係に改めた。

昭和56年 7月 我孫子市行政組織条例施行規則の改正により防災関係業務が総務課庶務係に移管された。

昭和56年 8月 小型動力ポンプ積載車を1台購入し、第12分団に配備した。

昭和56年10月 望楼を解体撤去した。

昭和56年10月 消防ポンプ自動車(BD-I)を1台購入し、第1分団に配備した。

昭和56年11月 小型動力ポンプ積載車を3台購入し、第5分団、第7分団、第18分団に配備した。

昭和57年 4月 職員を9名採用した。

昭和57年 4月～11月 小型動力ポンプ積載車を4台購入し、第4分団、第10分団、第17分団、第19分団に配備した。

昭和57年 7月 職員を1名採用した。

昭和57年10月 つくし野出張所 救急業務を開始した。

昭和57年11月 化学消防ポンプ自動車(II型)を1台購入し、本署に配備した。

昭和57年11月 救急自動車(2B型)を1台購入し、つくし野出張所に配備した。

昭和57年 7月 職員を1名採用した。

昭和58年 4月 職員を4名採用した。

昭和58年 7月 第5代消防長に工藤勲氏就任。

昭和58年 8月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し第2分団、第16分団に配備した。

昭和58年11月 救助工作車を1台購入し、本署に配備した。

昭和59年 8月 第13回全国消防救助技術大会に石井直樹消防士が出場した。

昭和59年10月 消防ポンプ自動車(BD-I型)を1台購入し、第3分団に配備し老朽更新を図った。

昭和59年11月 救急自動車(2B型)を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和60年 4月 職員を6名採用した。

昭和60年11月 小型動力ポンプ積載車を1台購入し、第8分団に配備した。

昭和61年 2月 布佐分署建設のため隣地(2,035.76㎡)を買収決定した。

昭和61年 4月 職員を7名採用した。

- 昭和61年10月 水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を1台購入し、布佐出張所に配備した。
- 昭和62年 4月 布佐分署の開設にあたり、消防本部機構改革により布佐出張所を布佐分署に名称を改め、分署長以下25名、水槽付消防ポンプ自動車2台、救急自動車1台を以て業務を開始した。
- 昭和62年10月 救急自動車（2B型）を1台購入し、本署に配備した。
- 昭和62年12月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、布佐分署に配備した。
- 昭和63年 2月 幼年消防クラブ結成。
- 昭和63年 4月 第6代消防長に大井豊氏就任。
- 昭和63年 4月 消防本部に警防課を設け、警防課に通信指令室が編入された。
- 昭和63年 4月 消防本部庁舎東側の土地(97.87㎡)を取得した。
- 昭和63年10月 消防ポンプ自動車（BD-I型）を1台購入し、第21分団に配備した。
- 平成 元年 4月 予防課が予防係、指導係の2係となった。
- 平成 元年 4月 消防音楽隊（20名）を発足させた。
- 平成 元年 4月 職員を2名採用した。
- 平成 元年 7月 職員を2名採用した。
- 平成 元年 8月 日本消防協会よりライトバン1台が寄贈され警防課に配備した。
- 平成 元年12月 水槽付消防ポンプ自動車（1-B型）を1台購入し、湖北出張所に配備した。消防ポンプ自動車（BD-I型）1台を購入し、第15分団に配備更新を図った。
- 平成 2年 2月 小型動力ポンプ（ラビット型）を2台購入し、第10分団及び第19分団に配備した。
- 平成 2年 2月 救急自動車（2B型）を1台購入し、布佐分署に配備した。
- 平成 2年 4月 職員を5名採用した。
- 平成 2年 5月 市制20周年を記念し、千葉県消防音楽隊フェスティバルが本市市民会館で開催された。
- 平成 2年 8月 マイクロバスを1台購入し、防災移動指揮車として本署に配備した。
- 平成 2年11月 水槽付消防ポンプ自動車（1B型）を1台購入し、つくし野出張所に配備した。
- 平成 3年 4月 消防本部機構改革により我孫子市消防署本署を西消防署に、布佐分署を東消防署に、湖北出張所を湖北分署に、つくし野出張所をつくし野分署に名称を改め、1本部2署2分署体制となった。職員を2名採用した。
- 平成 3年10月 救助用ゴムボート1隻及び船外機1台を購入し、西消防署に配備した。
- 平成 3年10月 救助活動用として牽引車（日産サファリ）を1台購入し、西消防署に配備した。
- 平成 3年11月 我孫子市婦人防火クラブがクラブ員142名をもって発足した。
- 平成 3年12月 水槽付消防ポンプ自動車（水1B型）を1台購入し、東消防署に配備した。
- 平成 4年 3月 救急自動車（2B型）を1台購入し、つくし野分署に配備した。
- 平成 4年 3月 東消防署に空気充填室を設置した。
- 平成 4年 4月 職員を2名採用した。
- 平成 4年10月 常備消防発足30周年記念式典を市民会館で開催、「消防30年の歩み」を発刊した。
- 平成 4年11月 完全週休二日制を開始した。
- 平成 4年12月 消防業務のOA化に伴い端末機等を設置し、オンラインシステムによる運用を開始した。
- 平成 5年 3月 化学消防車を1台購入し、西消防署に配備した。
- 平成 5年 4月 第7代消防長に今井敬氏就任。
- 平成 5年 4月 職員を4名採用した。
- 平成 5年 5月 第16回全国消防職員意見発表会に田村秀信消防士が出場した。
- 平成 6年 3月 高規格救急自動車を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。
- 平成 6年 4月 職員を4名採用した。
- 平成 6年 9月 ファイリングシステムを導入した。（消防本部、西消防署、東消防署）
- 平成 7年 6月 軽トラックを2台購入し、つくし野分署及び湖北分署に配備した。
- 平成 7年 7月 普通トラック（ロング）を1台購入し、西消防署に配備した。
- 平成 7年 8月 緊急援助隊の発足（平成7年6月30日）に伴い、消火隊1隊（5名）を県消防長会へ報告、全国消防長会に登録された。
- 平成 8年 4月 第8代消防長に土屋忠男氏就任。
- 平成 8年 4月 職員を5名採用した。
- 平成 8年 7月 第9代消防長に渡辺耕三氏就任。
- 平成 8年 9月 湖北分署の事務室（27.36㎡）を増築した。

平成 9年 1月 準高規格救急自動車1台を購入し、湖北分署に配備した。

平成 9年 2月 ボートトレーラ1台、救助工作車1台を購入し、西消防署に配備した。

平成 9年 4月 職員を4名採用した。

平成 9年 4月 総務課に庶務係、消防係をおき、警防課に救急救助係、通信係をおいた。

平成10年 4月 第10代消防長に林勇氏就任。

平成10年 4月 職員を6名採用した。

平成10年 4月 危険物安全協会と防火協会が統合し防災協会となる。

平成10年10月 音楽隊を休隊とした。

平成11年 2月 梯子車を1台購入し、西消防署に配置老朽更新を図った。

平成11年 3月 準高規格救急車を1台購入し、東消防署に配備老朽更新を図った。

平成11年 3月 指令装置老朽化のため更新し運用開始した。

平成11年 4月 職員を4名採用した。

平成12年 4月 第11代消防長に若泉薫氏就任。

平成12年 4月 職員を5名(内女性1名)採用した。

平成12年 4月 総務課を1係(総務係)とし、警防課通信係を西消防署に配属し通信室とした。

平成13年 4月 職員を5名(内女性2名)採用した。

平成13年10月 牽引車を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成13年10月 高規格救急車を1台購入し東消防署に配備、準高規格救急自動車をつくし野分署に配備した。

平成14年 4月 職員を5名(内女性2名)採用した。

平成15年 1月 水槽付消防ポンプ自動車(水IA型)を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成15年 2月 つくし野分署の仮眠室を新築し、事務室及び待機室の改修を行なった。

平成15年 4月 職員を3名採用した。

平成15年12月 水槽付消防ポンプ自動車(水IA型)を1台購入し、湖北分署に配備老朽更新を図った。

平成16年 4月 第12代消防長に飯合節夫氏就任。

平成16年 8月 指令車を1台購入し、予防課に配備老朽更新を図った。

平成16年12月 貨物自動車を1台購入し、東消防署に配備老朽更新を図った。

平成17年 3月 高規格救急車を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成17年 4月 職員を3名採用した。

平成17年 8月 マイクロバスを1台購入し、本部に配備老朽更新を図った。

平成17年12月 水槽付消防ポンプ車自動車(水IA型)を1台購入し、つくし野分署に配備老朽更新を図った。

平成18年 4月 第13代消防長に田口宏氏就任。

平成18年 4月 職員を2名(内女性1名)採用した。

平成18年 7月 貨物自動車(資材運搬車)を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成19年 2月 高規格救急自動車を1台購入し、湖北分署に配備老朽更新を図った。

平成19年 4月 第14代消防長に尾高朝雄氏就任。

平成19年 4月 職員を3名採用した。

平成20年 3月 寄付により連絡車(セレナ)を1台、予防課に配備した。

平成20年 4月 第15代消防長に篠原佳治氏就任。

平成20年 4月 職員を8名採用した。

平成20年10月 柏市・我孫子市消防通信指令業務共同運用のため、消防通信指令事務協議会を設置した。

平成21年 2月 高規格救急車を1台購入(一部寄付)し、つくし野分署に配備老朽更新を図った。

平成21年 4月 職員を3名採用した。

平成21年 7月 救助艇を1艇購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成21年10月 第16代消防長に海老原孝雄氏就任。

平成21年10月 連絡車(セレナ)を1台購入し、警防課に配備した。

平成22年 2月 小型動力ポンプ積載車を3台購入し、第14分団、第13分団、第20分団に配備老朽更新を図った。

平成22年 4月 高機能消防通信指令システムを整備し、柏市・我孫子市東葛消防指令センターにて消防通信指令業務の運用を開始した。

- 平成22年 4月 職員を6名採用した。
- 平成22年10月 指揮車を購入し、西消防署に配備した。
- 平成22年11月 消防ポンプ自動車（CD-1型）を1台購入し、第1分団に配備老朽更新を図った。
- 平成23年 2月 消防ポンプ自動車（CD-1型）圧縮空気泡消火装置付を1台購入し、東消防署に配備した。
- 平成23年 3月 連絡車（軽ワゴン車）（寄付）を1台消防本部に配備した。
- 平成23年 3月 東日本大震災に伴い、緊急援助隊千葉県隊として救急隊・後方支援隊各1隊を福島県に災害派遣した。（平成23年3月22日から平成23年6月6日まで延べ32名）
- 平成23年 4月 第17代消防長に藤根勉氏就任。
- 平成23年 4月 職員を3名採用した。
- 平成23年 9月 資機材搬送車を1台購入し西消防署に配備した。
- 平成24年 1月 救助工作車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成24年 2月 高規格救急自動車を1台購入し、東消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成24年 2月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し第5分団、第12分団に配備老朽更新を図った。
- 平成24年 3月 音楽隊を廃止した。
- 平成24年 3月 常備消防発足50周年記念標語「子や孫へ・つなぐ防災・我があびこ」を作成した。
- 平成24年 4月 職員を8名採用した。
- 平成24年 6月 連絡車（マーチ）を1台購入し、消防本部に配備した。
- 平成24年11月 常備消防発足50周年記念特別点検・消防フェアを手賀沼公園で実施した。
- 平成25年 2月 常備消防発足50周年式典をけやきプラザで開催した。
- 平成25年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を3台購入し、第7分団、第18分団、第19分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成25年 3月 化学消防自動車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成25年 4月 第18代消防長に豊嶋昇氏就任。
- 平成25年 4月 職員5名を採用した。
- 平成25年 4月 市長より救急消防体制の強化について消防審議会に諮問があった。
- 平成25年 9月 市長諮問について消防審議会の審議結果を答申した。
- 平成25年12月 第3回市議会定例会に救急消防体制の強化に伴う職員定数条例の一部改正を議案として上程、可決され平成28年4月1日までに6名の消防職員増員が図られることとなった。
これにより同日より救急隊を1隊増隊することが決定した。
- 平成26年 2月 高規格救急自動車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成26年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を3台購入し、第4分団、第10分団、第17分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成26年 4月 職員4名を採用した。
- 平成26年 8月 市長より不祥事防止の方策について消防審議会に諮問があった。
- 平成26年11月 市長諮問について消防審議会の審議結果を答申した。
不祥事防止計画「不祥事防止に向けて」を策定した。
- 平成26年11月 消防指令車を1台購入し、湖北分署に配置した。
- 平成27年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を2台購入し、第2分団、第16分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成27年 3月 消防団第21分団器具置場の老朽更新を図った。
- 平成27年 4月 第19代消防長に立澤和弥氏就任。
職員6名を採用した。
- 平成28年 2月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第3分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成28年 4月 職員4名を採用した。
西消防署に高規格救急自動車1台を増台配備し、救急隊5隊運用を開始した。
- 平成28年 8月 松戸市、市川市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市及び浦安市にて通信指令業務共同運用のため、松戸市ほか9市消防指令事務協議会を設置した。
- 平成29年 1月 高規格救急自動車を1台購入、湖北分署に配備し老朽更新を図った。
消防指令車を1台購入、消防本部に配備し老朽更新を図った。
小型動力消防ポンプ積載車を1台購入し、第8分団に配備し老朽更新を図った。

- 平成29年 4月 第20代消防長に寺田美登志氏就任。
職員4名を採用した。
- 平成29年 6月 広報車（プロボックス）を1台購入し、消防本部に配備し老朽更新を図った。
- 平成30年 2月 水槽付き消防ポンプ自動車（CD-1型）を1台購入し、東消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成30年10月 消防指令車を1台購入し、つくし野分署に配置した。
- 平成30年12月 高規格救急自動車を1台購入、つくし野分署に配備し老朽更新を図った。
- 平成31年 1月 広報車（マーチ）を1台購入し、消防本部に配備し老朽更新を図った。
- 平成31年 3月 梯子車を1台購入し、西消防署に配置し老朽更新を図った。
- 平成31年 3月 消防団第11分団器具置場の老朽更新を図った。
- 平成31年 4月 第21代消防長に深山和義氏就任。
職員7名を採用した。
- 令和 元年11月 消防指令車1台及びボートトレーラー1台を購入、東消防署へは配備し、老朽更新を図った。
- 令和 2年 3月 ボートトレーラー1台を購入、西消防署へ配備し、老朽更新を図った。
- 令和 2年 3月 消防団第9分団器具置場の老朽更新を図った。
- 令和 2年 4月 職員8名を採用した。
- 令和 3年 1月 高規格救急自動車を1台購入、東消防署に配備し、老朽更新を図った。
- 令和 3年 2月 水槽付き消防ポンプ自動車を1台購入、西消防署に配備し、老朽更新を図った。
ちば北西部消防指令センター運用を開始した。
西消防署に無人航空機（ドローン）を配備し、運用を開始した。
東消防署に女性仮眠室を整備した。
- 令和 3年 2月 松戸市ほか9市消防指令事務協議会にて、ちば北西部消防指令センターを整備し、消防通信指令業務の運用を開始した。
- 令和 3年 3月 貨物車を1台購入、西消防署に配備し、老朽更新を図った。
- 令和 3年 4月 職員6名（うち女性3名）を採用した。
- 令和 3年12月 水槽付き消防ポンプ自動車を1台購入、湖北分署に配備し、老朽更新を図った。

歴代消防長

	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	新 保 衡 助	昭和40年 4月1日	昭和48年3月31日
2 代	橋 本 貫太郎	昭和48年 4月1日	昭和50年1月31日
3 代	増 田 吉 彌	昭和50年 2月1日	昭和53年3月31日
4 代	村 上 久	昭和53年 4月1日	昭和58年6月30日
5 代	工 藤 勲	昭和58年 7月1日	昭和63年3月31日
6 代	大 井 豊	昭和63年 4月1日	平成 5年3月31日
7 代	今 井 敬	平成 5年 4月1日	平成 8年3月31日
8 代	土 屋 忠 男	平成 8年 4月1日	平成 8年6月30日
9 代	渡 辺 耕 三	平成 8年 7月1日	平成10年3月31日
10 代	林 勇	平成10年 4月1日	平成12年3月31日
11 代	若 泉 薫	平成12年 4月1日	平成16年3月30日
12 代	飯 合 節 夫	平成16年 4月1日	平成18年3月31日
13 代	田 口 宏	平成18年 4月1日	平成19年3月31日
14 代	尾 高 朝 雄	平成19年 4月1日	平成20年3月31日
15 代	篠 原 佳 治	平成20年 4月1日	平成21年3月31日
16 代	海老原 孝 雄	平成21年10月1日	平成23年3月31日
17 代	藤 根 勉	平成23年 4月1日	平成25年3月31日
18 代	豊 嶋 昇	平成25年 4月1日	平成27年3月31日
19 代	立 澤 和 弥	平成27年 4月1日	平成29年3月31日
20 代	寺 田 美登志	平成29年 4月1日	平成31年3月31日
21 代	深 山 和 義	平成31年 4月1日	

※第16代の4月1日から9月30日までの期間は、同氏が消防長職務代理者として就任していたもの。

歴代消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	増 田 政 道	昭和30年 4月 29日	昭和32年 4月 28日
2 代	豊 嶋 幸 治	昭和32年 4月 29日	昭和36年 5月 22日
3 代	佐久間 忠 博	昭和36年 5月 22日	昭和40年 3月 31日
4 代	津 川 道 雄	昭和40年 4月 1日	昭和42年 7月 31日
5 代	村 越 新 男	昭和42年 8月 1日	昭和47年 4月 30日
6 代	今 井 喜美男	昭和47年 5月 1日	昭和51年 3月 31日
7 代	松 島 洋	昭和51年 4月 1日	平成 7年 1月 28日
8 代	飯 田 和 行	平成 7年 2月 8日	平成25年 3月 31日
9 代	吉 田 喜一郎	平成25年 4月 1日	

我孫子市消防年報

(令和3年版)

発行 令和4年6月

編集 我孫子市消防本部総務課

